

【資料－2】

那賀川流域住民ニーズ把握アンケート調査結果 (中間報告)

平成28年8月23日

目 次

1. 調査内容	1
2. アンケート調査結果	2
(1) とりまとめ概要	2
(2) 河道域調査結果概要	5
(3) 海岸域調査結果概要	18
参考資料 河道域アンケート調査票	28
海岸域アンケート調査票	39

1. 調査内容

(1). アンケート調査の目的

アンケート調査は那賀川総合土砂管理計画策定に際して、那賀川流砂系・漂砂系に対する治水・利水・環境等について流域のニーズ把握を行うもので、那賀川流砂系・漂砂系における目指すべき姿、それを踏まえた土砂管理目標を設定するための基礎資料とする目的として実施した。

(2). 調査方法

那賀川を利用している人を対象に対面方式によるアンケート（聞き取り調査）を実施した。

調査は下記に示すとおり、移動調査と定点調査の2通りの調査手法を採用した。

① 移動調査

那賀川の河口域から上流域及び海岸域の広範囲をカバーするため、2名1組を3班に分かれて車両で移動しながら調査した。（調査場所 表-1）

② 定点調査

調査地点は、人々が集まりやすい河川敷公園、河川に近い施設、役場支所等とし、各定点に調査員1名を配置し、集中的に調査を実施した。（調査場所 表-2）

(3). 調査日時

調査は人々の集まる箇所の特性を踏まえて、平日と休日の各1日ずつとし、下記の日時に実施した。

- ・調査実施日：平成28年7月15日（金）、16日（土）
- ・調査時間：6時～18時（概ね、日の出後～日没前の人々の活動時間帯）

■聞き取り調査の実施状況



那賀川築橋付近（7月15日）



富岡港海岸（7月15日）

2. アンケート調査結果

(1) とりまとめ概要

表-1, 表-2 及び図-1 にアンケート調査地点を示した。また、実際に個々の聞き取りを実施した調査地点を図-2 に示す。

表-1 移動調査範囲

区分	調査範囲
河道域	那賀川上流 十八女大橋～長安口ダム、木頭地区、木沢地区
	那賀川下流 大京原橋～十八女大橋
	那賀川河口 河口～大京原橋
海岸域	那賀川左岸・坂野・今津海岸 富岡港海岸

表-2 定点調査地点

区分	No.	調査地点	設定根拠	平日	休日
河道域	①	那賀川左岸 8k/2～8k/4 那賀川河川敷第3緑地	・サッカーフィールド、グランドゴルフ場があり、地域の人々の主体的な河川利用地点	○	○
	②	那賀川左岸 9k/0 那賀川河川敷第3緑地	・左岸から右岸に向かう早瀬は、那賀川下流域で、まとまって釣り人が見られる。	○	○
	③	那賀川右岸 9k/2～9k/8 那賀川右岸大野運動広場	・野球場、グランドゴルフ場があり、地域の人々の主体的な河川利用地点	○	○
	④	那賀川左岸 28k/0 道の駅鷺の里	・釣り、カヌー等の河川利用が見られる地点である。	○	○
	⑤	那賀川左右岸 31k/2 丹生谷橋付近	・旧鷺敷町の中心部に近く人々の往来がある。近くに那賀高校も存在し、若手の意見聴取も狙う。	○	○
	⑥	那賀川左岸 33k/6 鷺敷野外活動センター	・カヌー練習の拠点的ともなっており、休日の来訪が想定される。		○
	⑦	那賀川右岸 35k/0 わじきラインキャンプ場	・休日に利用が想定される。		○
	⑧	那賀川左岸 37k/0 那賀町役場相生支所	・平日に地域住民の来訪が想定される。	○	
	⑨	那賀川左岸 44k/0 道の駅もみじ川温泉	・地場産品直売所も隣接して存在し、地域住民も来訪する。	○	○
	⑩	那賀川左岸 62k/0 那賀町役場上那賀支所	・上那賀病院も隣接し、平日に地域住民の来訪が想定される	○	
河道域合計				8	8
海岸域	⑪	中島港	・釣り人の来訪が想定される。釣り人対象とした定点を設定。	○	○
	⑫	富岡港海岸	・那賀川南岸において、唯一、来訪が想定される海岸。	○	○
海岸域合計				2	2
土砂生産域	⑬	那賀町役場木頭支所付近	地域住民の来訪が想定される。	○	○
	⑭	那賀町役場木沢支所付近	地域住民の来訪が想定される。	○	○
土砂生産域				2	2
定点調査地点合計				14	14

■調査対象範囲

河道域：長安口ダム下流の那賀川、木頭地区、木沢地区
海岸域：坂野・今津・那賀川左岸海岸、富岡港海岸

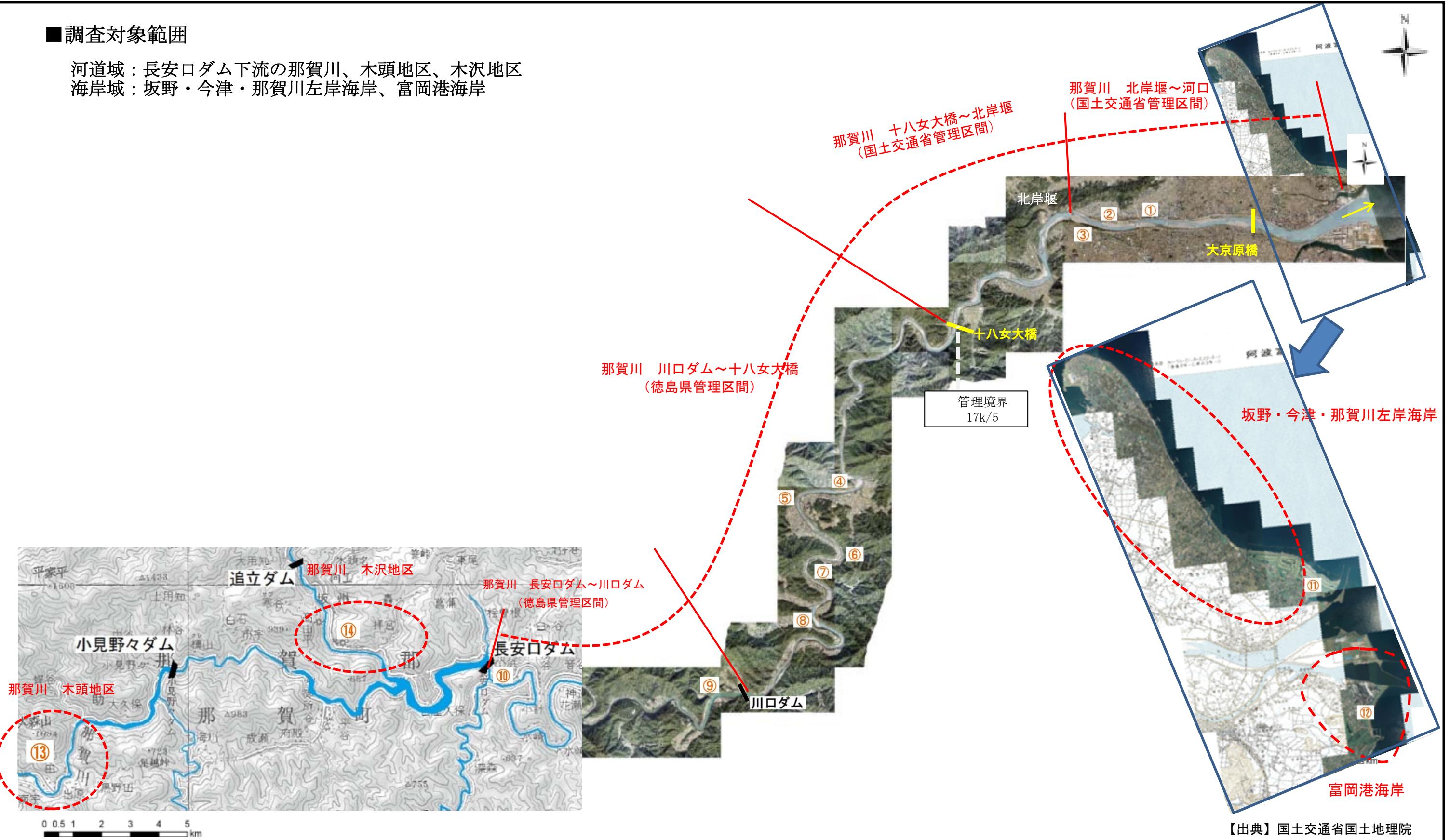


図-1 調査対象範囲

■移動調査及び定点調査の聞き取り調査地点

アンケート対象者数

	河道域	海岸域
平日	160	24
休日	146	41
合計	306	65

*アンケート調査票の合計は1人で複数区間の回答者も存在するため対象者数より多くなっている

各区間の調査票数

調査方法	大京原～北岸堰		北岸堰～十八女大橋		十八女大橋～川口ダム		川口ダム～長安口ダム		木頭・木沢		坂野・今津・那賀川海岸		合計		
	移動	定点	移動	定点	移動	定点	移動	定点	移動	定点	移動	定点	移動・定点		
平日	10	43	3		8	38	5	35		18	8	16	34	150	184
休日	10	43	4		6	53	5	17		8	17	24	42	145	187
合計	20	86	7		14	91	10	52		26	25	40	76	295	371
	106		7		105		62		26		65		371		

定点調査の地点ごとの調査票数

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	合計	
平日	20	15	8	15	8				15	14	21	6	10	6	12	150
休日	17	14	12	22	9	9	13		17		9	15	6	2	145	
合計	37	29	20	37	17	9	13	15	31	21	15	25	12	14	295	

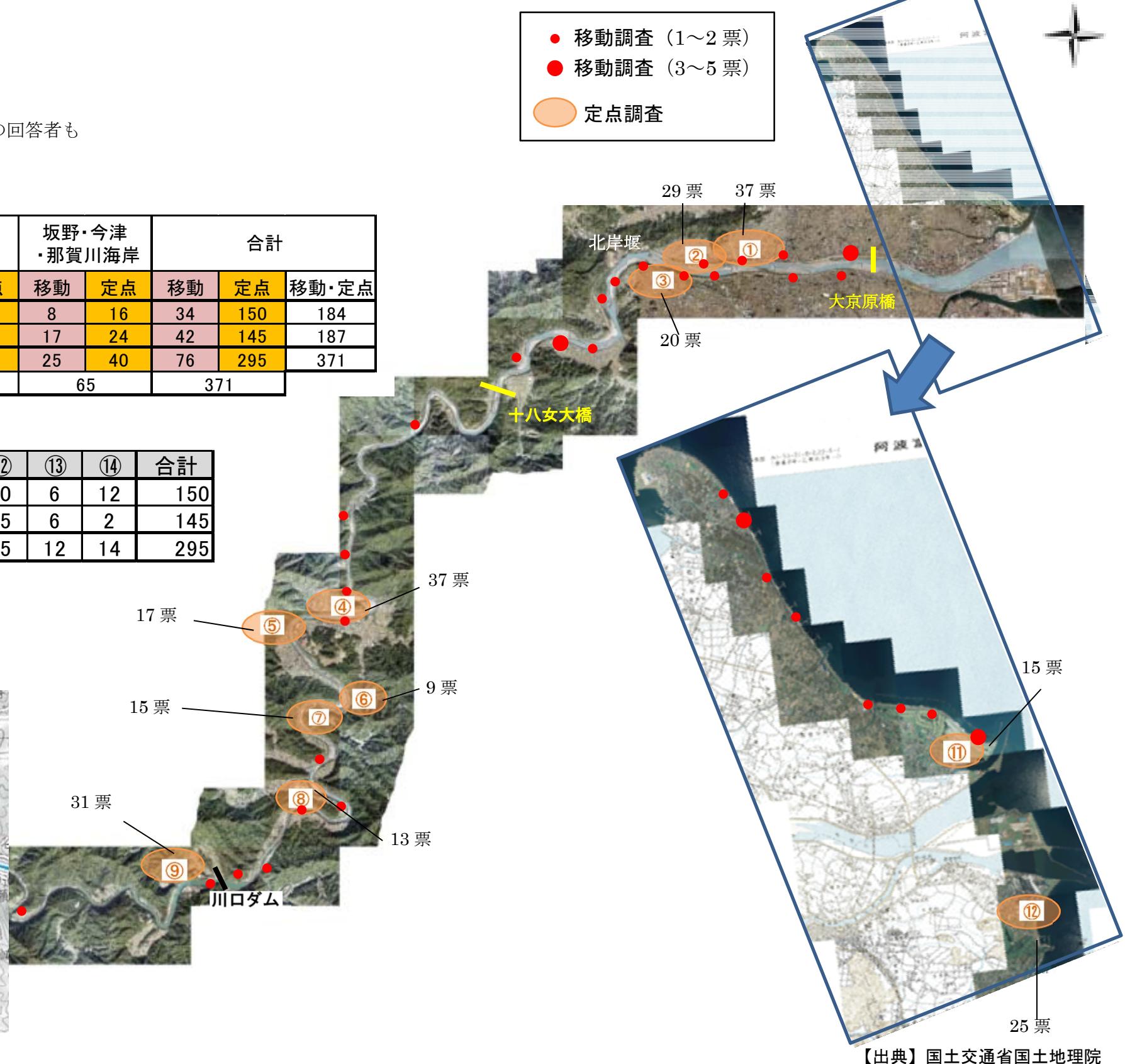


図-2 地点別アンケート調査状況

(2) 河道域調査結果概要

アンケート調査による河道域の調査結果概要を表-3 に示す。

表-3 那賀川アンケートとりまとめ【河道域】

設問	設問内容	主なアンケート結果
1	属性 P6～P9	<ul style="list-style-type: none"> 回答した 95%以上の方が 40 代以上で、60 歳以上（75%以上）の高齢者が多かった。 男女比は 2 : 1 の割合で男性が多かった。 90%以上が阿南市、那賀町の方で、約 77%の方が 30 年以上の居住年数を有する。 那賀川の利用目的は散策が多く約 21%、次いでスポーツ約 17%、釣りが約 16%であった。 利用頻度は散策の方は、毎日が一番多く約 47%、スポーツ利用は週 1 回が一番多く約 41%であった。
2	現在の那賀川について Q1 P10	<ul style="list-style-type: none"> 普段の那賀川の印象は、水深は浅く、水面は狭い、水量は少ないという回答が多い傾向にあるが、流れの速さの傾向は認められなかった。
3	那賀川の河原・河床について Q2～Q5 P11～P12	<ul style="list-style-type: none"> 河原の大きさは、約 35%の方が広くなった、約 42%の方が狭くなった、約 22%の方が変わらないと回答していた。 河原の大きさの変化が見られる時期として、1970 年代以前に狭くなったと答えた方が多く、2000 年以降は河原が広くなったと答えた方が多かった。 河原の高さは、高くなった意見が約 46%と多数を占めるが、低くなったが約 29%、変わらないが約 24%を占めていた。 河床の高さの変化が見られる時期として、1970 年代以前と近年に高くなったと答える方が多く、1970 年代に低くなったと答えた方も多かった。 河原の石の大きさは全体の約 50%の方が小さくなつた、約 22%の方が大きくなつた、約 27%が変わないと回答した。 河原の石の大きさの変化が見られる時期として、1980 年代以前と近年に小さくなつたと答える方が多かった。 かつての那賀川の河原の石の大きさは、約 27%の方が拳大の石であった、約 25%の方が拳より小さい石であったと回答した。
4	那賀川の水辺利用について Q6 P13～P14	<ul style="list-style-type: none"> 那賀川の水辺を利用しないと答えた方は約 57%で、利用すると答えた方約 34%を上回った。 利用しない理由は、川に降りにくいが約 16%、川が濁っている約 10%、水際が遠いが約 8%であった。 その他意見としては、「目的がない」、「ゲートボールをすること」、「散歩やウォーキングのみ利用」というのがあった。
5	那賀川の望ましい姿について Q7 P14	<ul style="list-style-type: none"> 将来の那賀川の望ましい姿としては、「水辺に近づきやすく、川遊びができる川」と答えた方が約 39%、「たくさんのアユが遡上し、釣りができる川」と答えた方が約 260%、「早瀬や淵が存在する多様な流れが存在する川」と答えた方が約 5%であった。
6	土砂還元について Q8～Q10 P15～P17	<ul style="list-style-type: none"> 約 69%の方が土砂還元の取り組みについて知っていた。 土砂還元の取り組みに期待する方は約 63%で、期待しない方は約 31%であった。 期待する理由は、「川の水がきれいになる」が約 34%と最も多く、次いで「本来の土砂の流れの復活」が約 21%、「魚が棲みやすくなる」が約 15%であった。 土砂還元に期待しない理由は、「川に土砂溜まり、洪水で溢れるから」が約 34%と最も多く、次いで「川口ダムが土砂で埋まってしまうから」が約 17%、「濁りが心配」が約 11%であった。

（アンケート結果を踏まえた今後の分析方針について）

以上、アンケートに基づいて那賀川の全体的な傾向をとりまとめたが、今後は、場所ごとの整理を実施し、地区別の変化傾向等を分析していく予定である。

【河道域】アンケート集計結果データ集

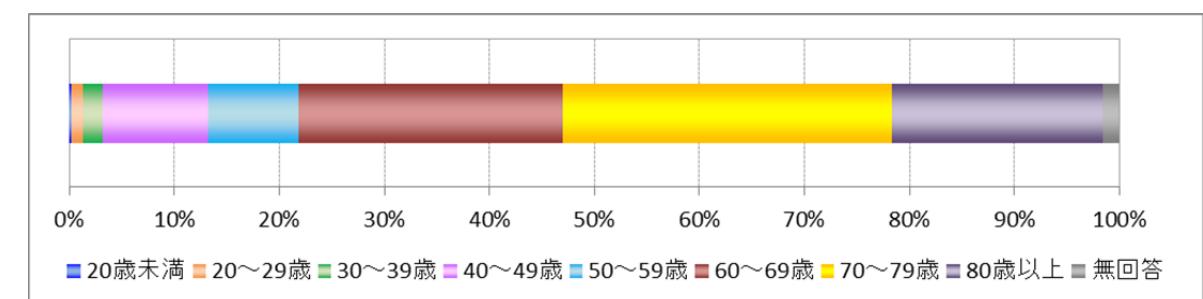
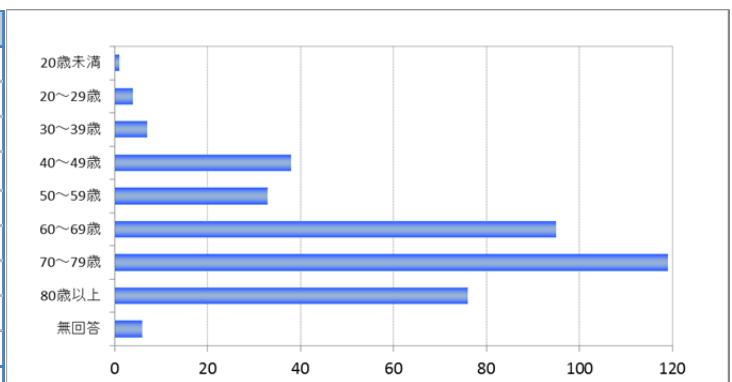
全回答数：379

このアンケートにお答えいただくあなた自身についてお教え下さい。

- ・あなたの年齢に当てはまる番号に○をつけて下さい。

- [1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳
6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上]

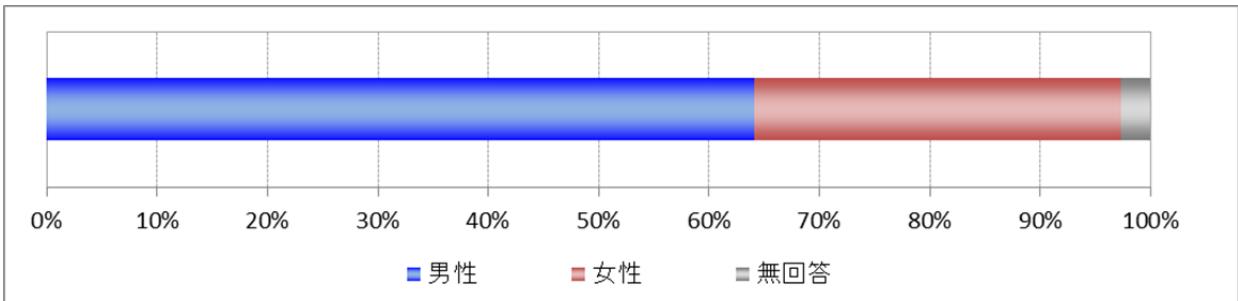
	回答数	割合
20歳未満	1	0.3%
20～29歳	4	1.1%
30～39歳	7	1.8%
40～49歳	38	10.0%
50～59歳	33	8.7%
60～69歳	95	25.1%
70～79歳	119	31.4%
80歳以上	76	20.1%
無回答	6	1.6%
合計	379	100.0%



- ・あなたの性別に当てはまる番号に○をつけて下さい。

- 性別 : [1. 男性 2. 女性]

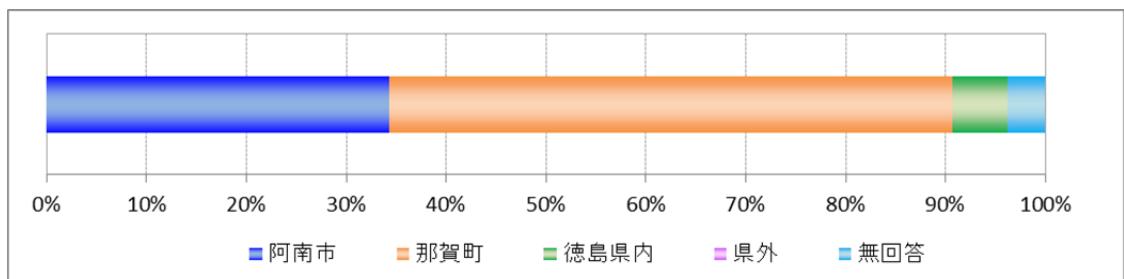
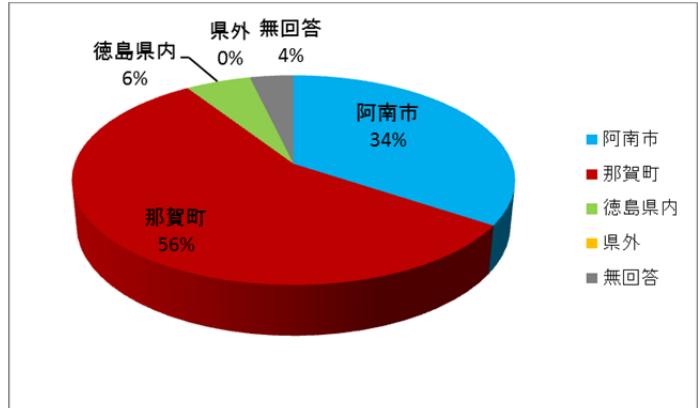
	回答数	割合
男性	243	64.1%
女性	126	33.2%
無回答	10	2.6%
合計	379	100.0%



- ・あなたのお住まいの地区に○をつけて下さい。

1. 阿南市 町
2. 那賀町 町
3. 徳島県内 (_____)
4. 県外 (_____)

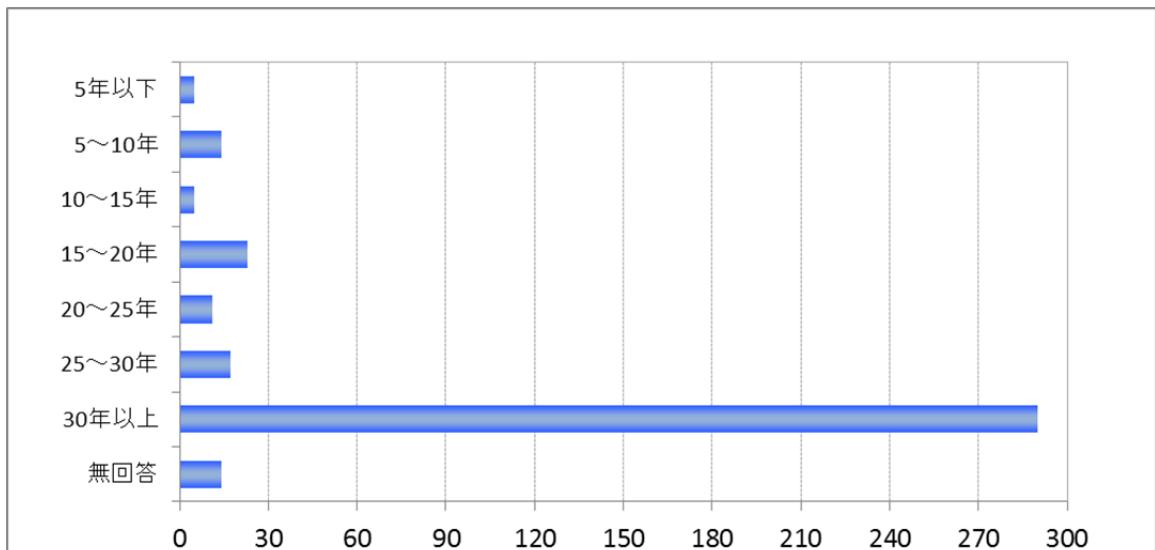
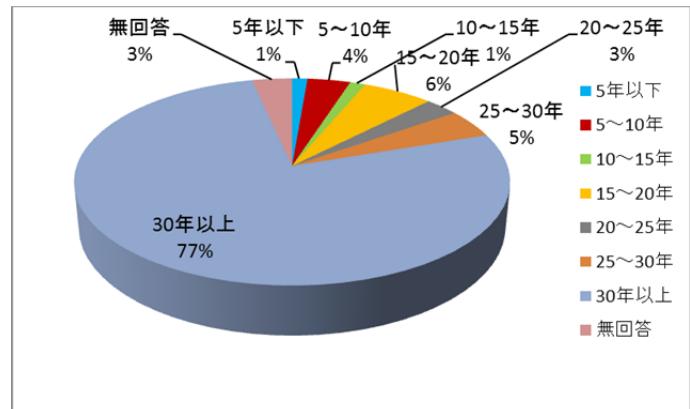
	回答数	割合
阿南市	130	34.3%
那賀町	214	56.5%
徳島県内	21	5.5%
県外	0	0.0%
無回答	14	3.7%
合計	379	100.0%



- ・現在お住まいの場所にお住みになっている年数をご記入下さい。

居住年数 : () 年

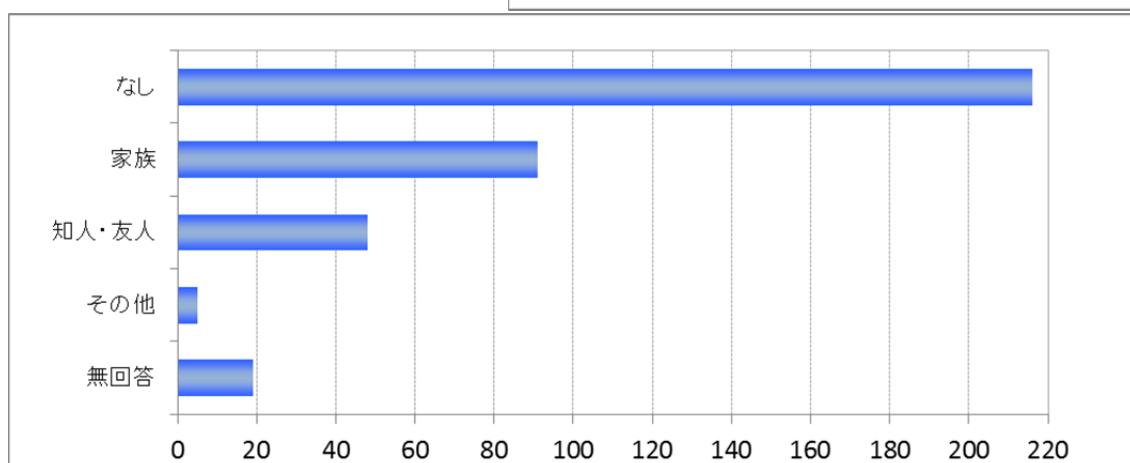
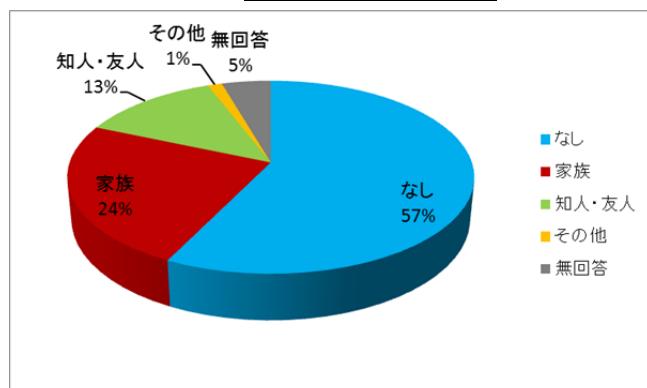
	回答数	割合
5年以下	5	1.3%
5～10年	14	3.7%
10～15年	5	1.3%
15～20年	23	6.1%
20～25年	11	2.9%
25～30年	17	4.5%
30年以上	290	76.5%
無回答	14	3.7%
合計	379	100.0%



同伴者をご記入下さい。

1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他 (_____)

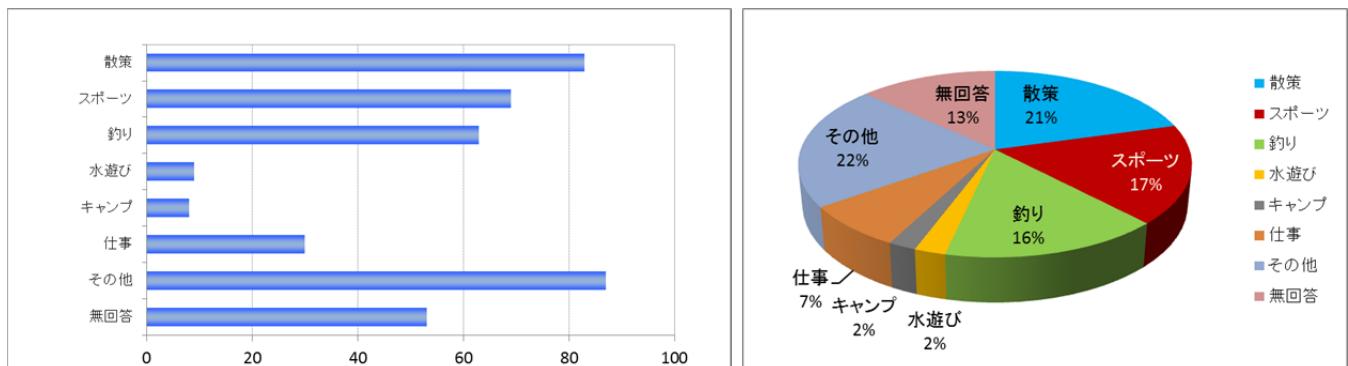
	回答数	割合
なし	216	57.0%
家族	91	24.0%
知人・友人	48	12.7%
その他	5	1.3%
無回答	19	5.0%
合計	379	100.0%

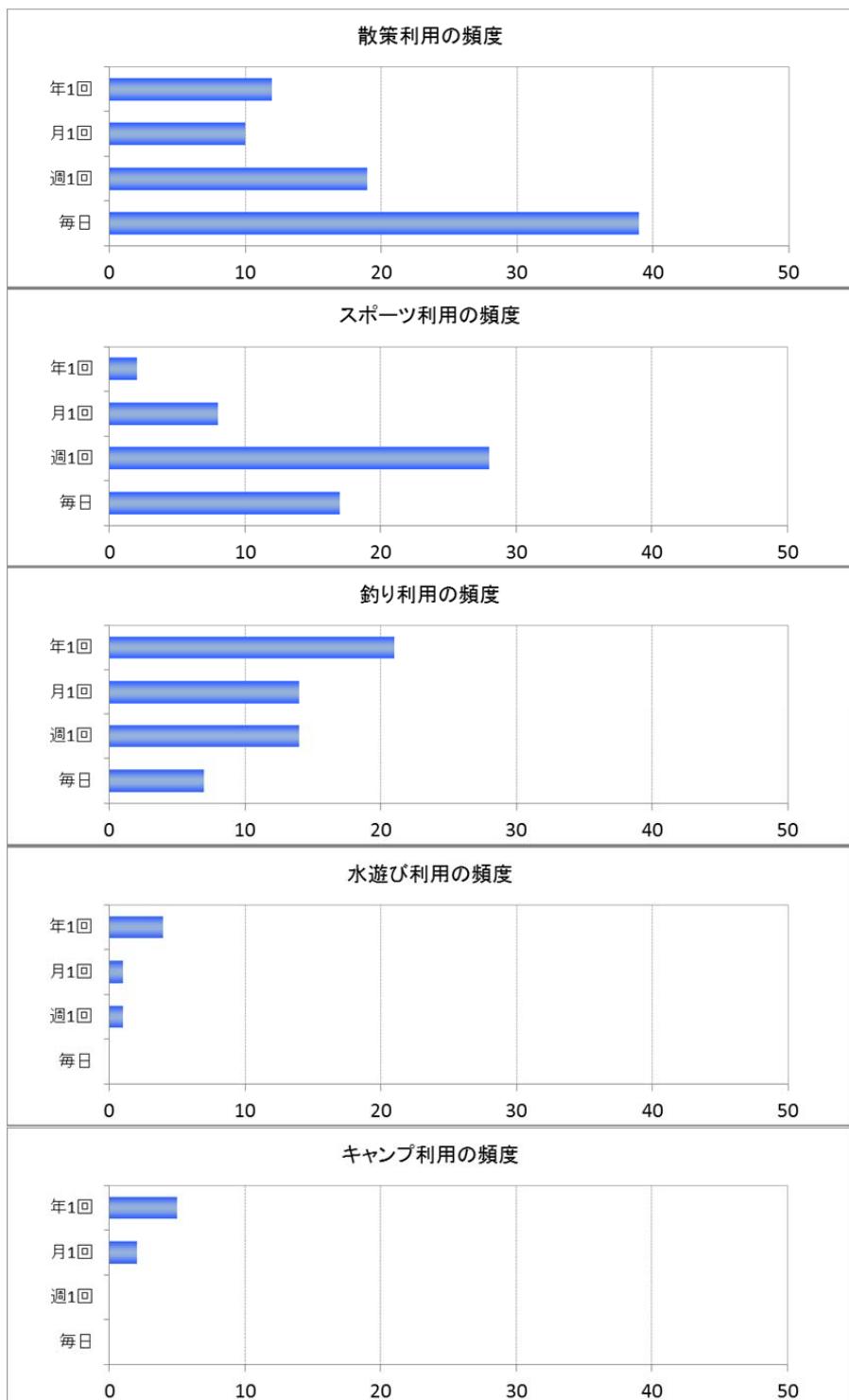


・利用目的：複数回答あり

1. 散策 2. スポーツ 3. 釣り 4. 水遊び 5. キャンプ 6. 仕事
7. その他 (_____)

	回答数	割合	毎日	週1回	月1回	年1回	無回答
散策	83	20.6%	39	19	10	12	3
スポーツ	69	17.2%	17	28	8	2	14
釣り	63	15.7%	7	14	14	21	7
水遊び	9	2.2%	0	1	1	4	3
キャンプ	8	2.0%	0	0	2	5	1
仕事	30	7.5%	21	2	6	1	0
その他	87	21.6%	18	5	2	8	54
無回答	53	13.2%					
合計	402	100.0%	102	69	43	53	82



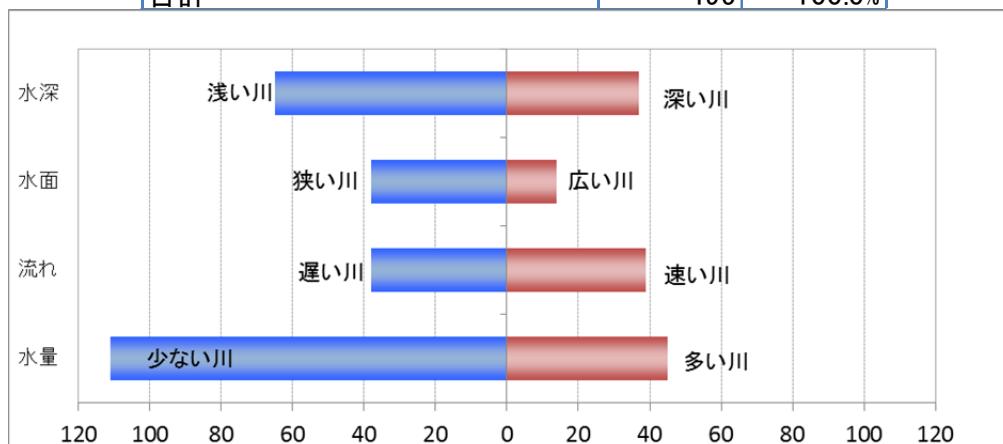


Q1 現在の那賀川の普段の印象。（複数回答可）

- 現在の那賀川の普段の印象を教えてください。（複数回答可）

1. 水量が多い川
2. 流れが速い川
3. 水面が広い川
4. 水深が深い川
5. 水量が少ない川
6. 流れが遅い川
7. 水面が狭い川
8. 水深が浅い川
9. その他（_____）

	回答数	割合
水量が多い川	45	9.1%
流れが速い川	39	7.9%
水面が広い川	14	2.8%
水深が深い川	37	7.5%
水量が少ない川	111	22.4%
流れが遅い川	38	7.7%
水面が狭い川	38	7.7%
水深が浅い川	65	13.1%
その他	90	18.2%
無回答	18	3.6%
合計	495	100.0%



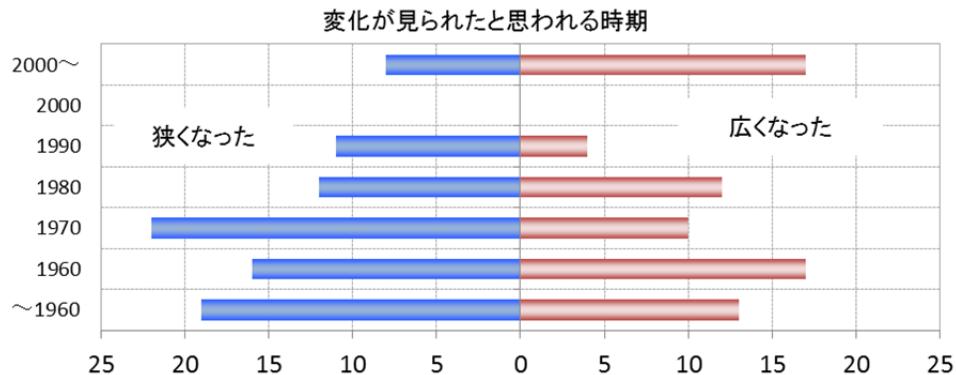
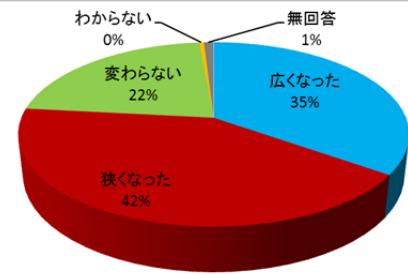
その他回答	人数
水がきれい	5
水が汚い	23
水が濁っている	25
水質が悪くなった	6
瀬渕がなくなった	2
土砂が多い川	2
放流がみられる	1
遊ぶ場所がない	1
ダムになった	1
あまり行かない	1
変わらない	12
わからない	7
特になし	3
無回答	1
合計	90

Q2 那賀川の河原の大きさはかわりましたか。

1. 広くなった 2. 狹くなった 3. 変わらない 4. わからない

いつごろと比べて（_____年頃）

	回答数	割合
広くなった	73	34.8%
狭くなった	88	41.9%
変わらない	46	21.9%
わからない	1	0.5%
無回答	2	1.0%
合計	210	100.0%

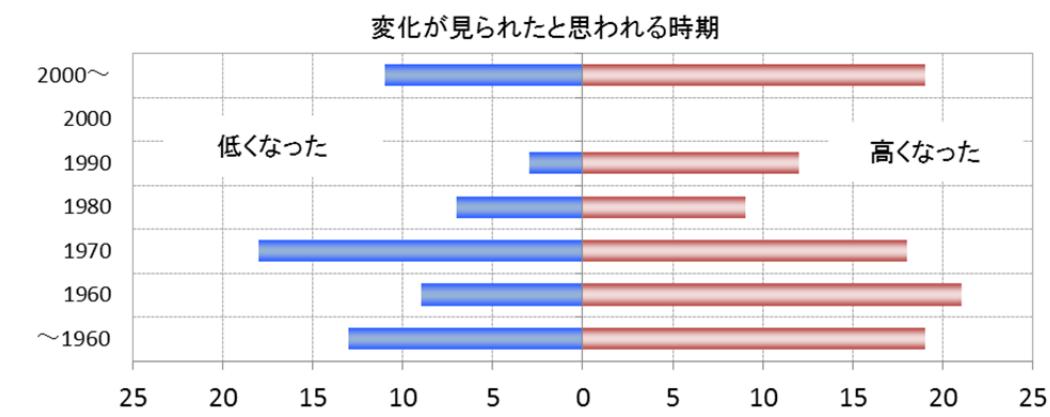
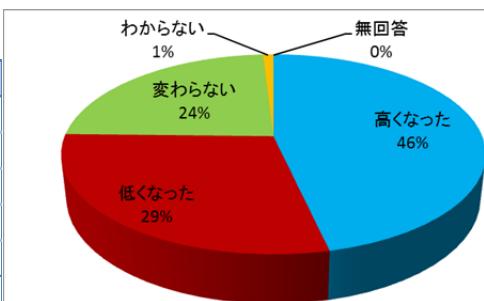


Q3. 那賀川の河原の高さはかわりましたか。

1. 高くなった 2. 低くなった 3. 変わらない 4. わからない

いつごろと比べて（_____年頃）

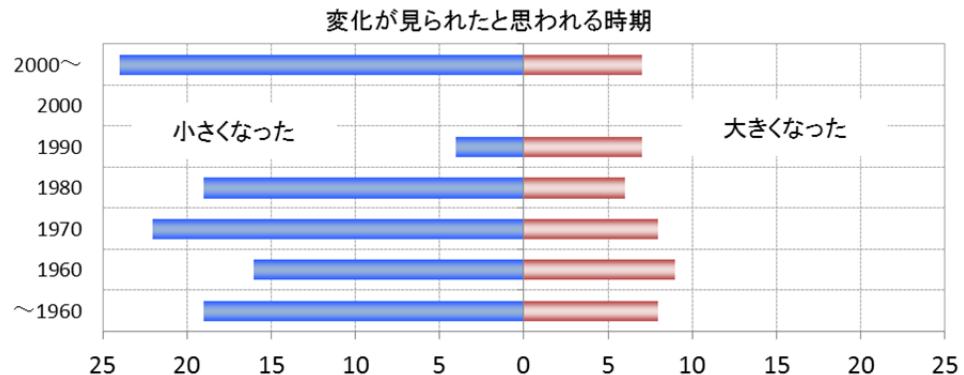
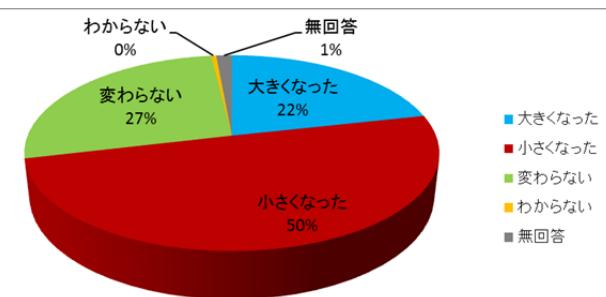
	回答数	割合
高くなった	98	46.4%
低くなった	61	28.9%
変わらない	50	23.7%
わからない	2	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	211	100.0%



Q4. 那賀川の河原の石の大きさはかわりましたか。

1. 大きくなった 2. 小さくなった 3. 変わらない 4. わからない
いつごろと比べて（_____年頃）

	回答数	割合
大きくなった	45	21.5%
小さくなった	104	49.8%
変わらない	56	26.8%
わからない	1	0.5%
無回答	3	1.4%
合計	209	100.0%

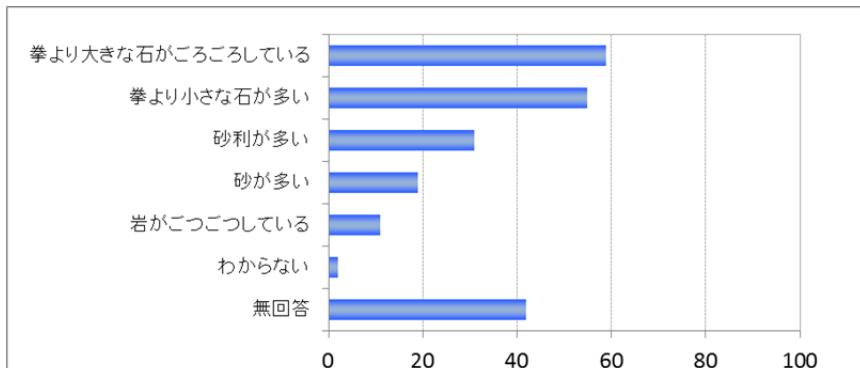
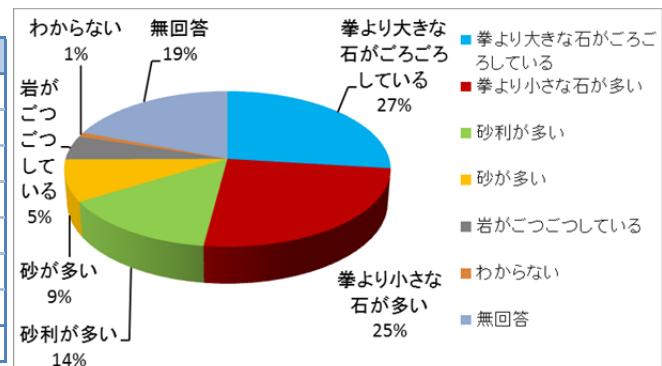


Q5. 那賀川の石の大きさはどんなかんじでしたか。

1. 拳より大きい石がごろごろしている 2. 拳より小さい石が多い 3. 砂利が多い
4. 砂が多い 5. 岩がごつごつしている 6. わからない

いつ頃（_____年頃）

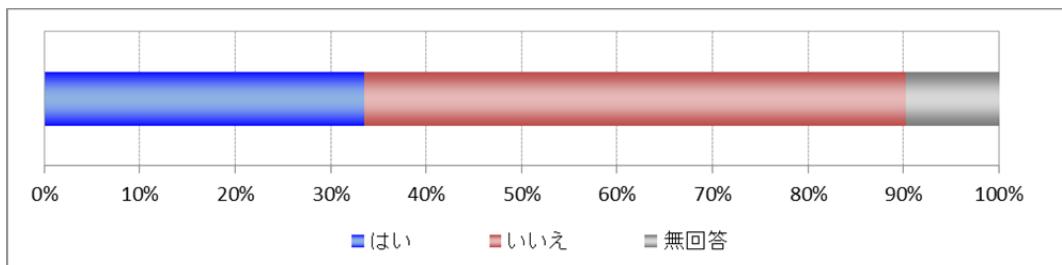
	回答数	割合
拳より大きな石がごろごろしている	59	26.9%
拳より小さな石が多い	55	25.1%
砂利が多い	31	14.2%
砂が多い	19	8.7%
岩がごつごつしている	11	5.0%
わからない	2	0.9%
無回答	42	19.2%
合計	219	100.0%



Q6. 那賀川の水辺を利用されますか。

1. はい 2.いいえ

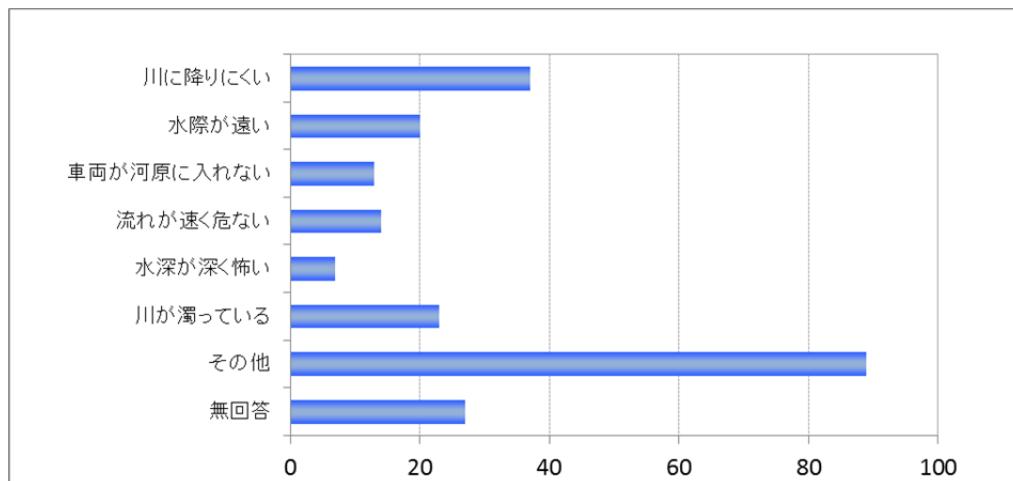
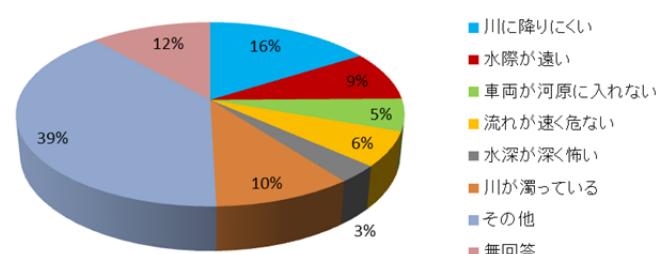
	回答数	割合
はい	127	33.5%
いいえ	215	56.7%
無回答	37	9.8%
合計	379	100.0%



2の場合

- { 1. 川に降りにくい 2. 水際が遠い 3. 車両が河原に入れない 4. 流れが速く危ない
5. 水深が深く怖い 6. 川が濁っている 7. その他 (_____) }

	回答数	割合
川に降りにくい	37	16.1%
水際が遠い	20	8.7%
車両が河原に入れない	13	5.7%
流れが速く危ない	14	6.1%
水深が深く怖い	7	3.0%
川が濁っている	23	10.0%
その他	89	38.7%
無回答	27	11.7%
合計	230	100.0%

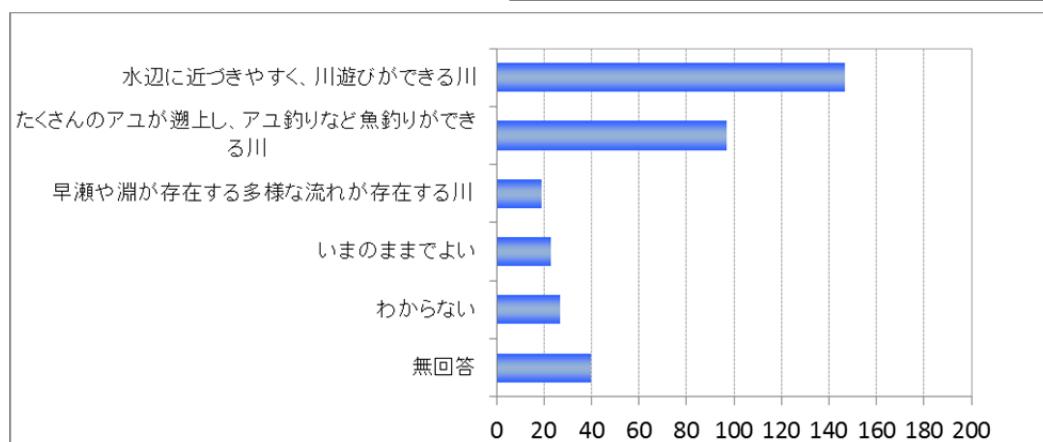
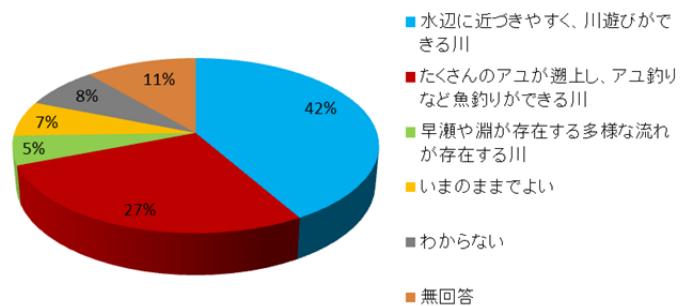


その他回答	人数
ゲートボール	9
散歩・ウォーキング	7
ヘビがいるから	2
草が生え放題	1
浅くなつてはいらない	2
近づきにくい	1
高齢のため	5
川へ入る道がなくなつた	1
泳ぐことがない	2
泳ぐところがなくなつた	1
水が汚い、魚がいない	1
アユがいない	1
釣りに行かなくなつた	1
釣りができない	1
子供を遊ばせられない	1
バーベキュー	1
道のみ利用	4
利用しない	1
仕事のため利用なし	1
目的なし	33
無回答	13
合計	89

Q7. あなたの思う将来の那賀川の姿について、最も望ましいと思うものを1つお選び下さい。

1. 水辺に近づきやすく、川遊びができる川 2. たくさんのアユが遡上し、釣りができる川
 2. 早瀬や淵が存在する多様な流れがある川 4. 今までよい 5. わからない

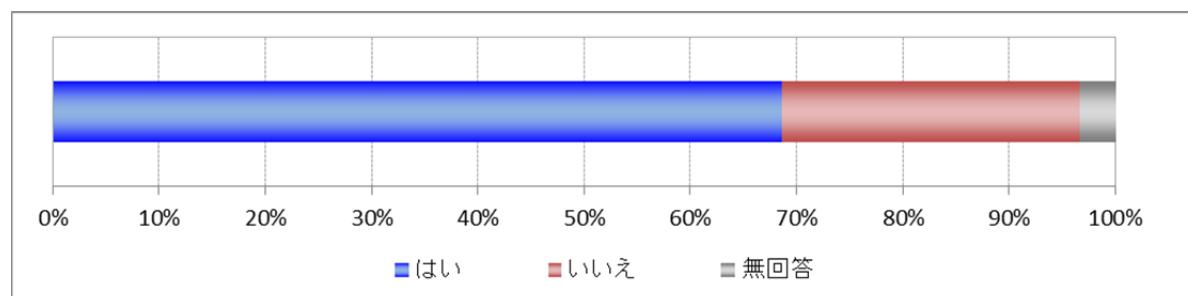
	回答数	割合
水辺に近づきやすく、川遊びができる川	147	38.8%
たくさんのアユが遡上し、アユ釣りなど魚釣りができる川	97	25.6%
早瀬や淵が存在する多様な流れがある川	19	5.0%
今までよい	23	6.1%
わからない	27	7.1%
無回答	40	10.6%
複数回答による無効	26	6.9%
合計	379	93.1%



Q8. 長安口ダムで土砂を下流に流す取り組みについて知っていましたか。

1. はい 2.いいえ

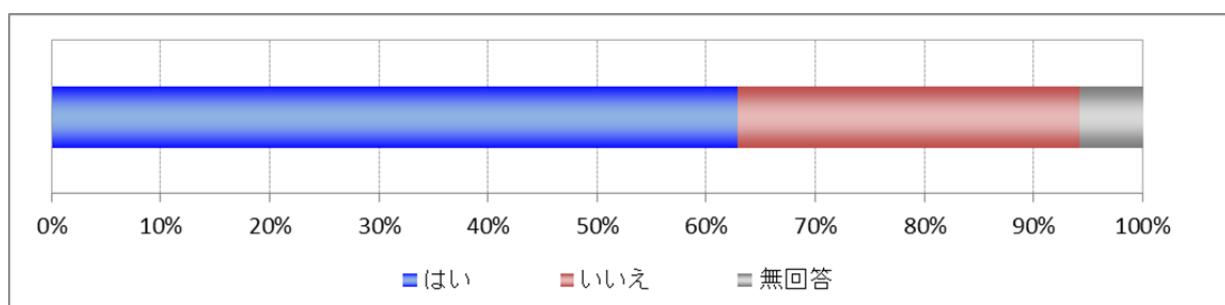
	回答数	割合
はい	260	68.6%
いいえ	106	28.0%
無回答	13	3.4%
合計	379	100.0%



Q9. このような取り組みに期待しますか。

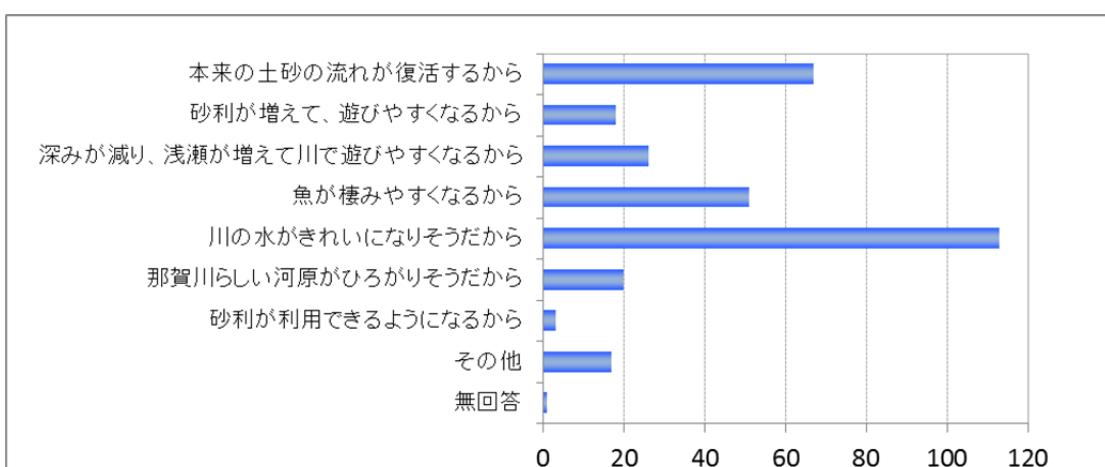
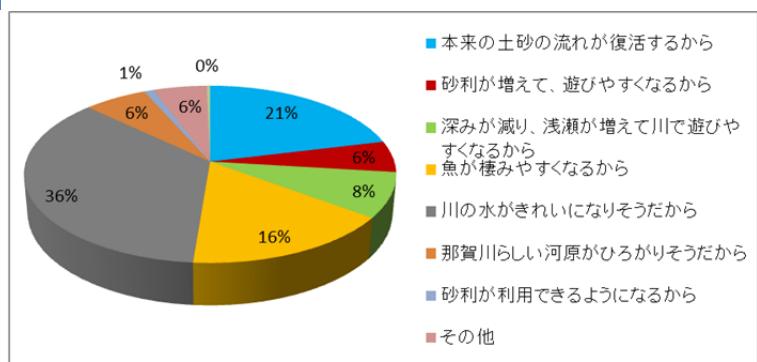
1. はい 2.いいえ

	回答数	割合
はい	238	62.8%
いいえ	119	31.4%
無回答	22	5.8%
合計	379	100.0%



Q10. 上記で1.と答えた方は、期待する効果は何ですか。（複数回答可）

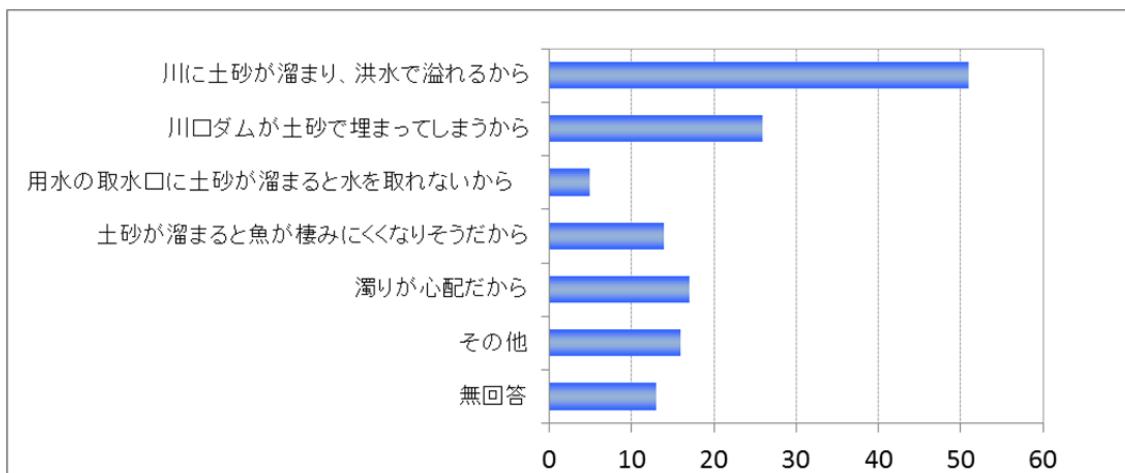
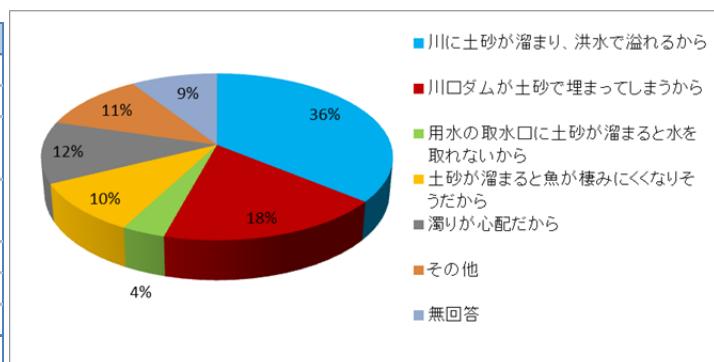
	回答数	割合
本来の土砂の流れが復活するから	67	21.2%
砂利が増えて、遊びやすくなるから	18	5.7%
深みが減り、浅瀬が増えて川で遊びやすくなるから	26	8.2%
魚が棲みやすくなるから	51	16.1%
川の水がきれいになりそうだから	113	35.8%
那賀川らしい河原がひろがりそうだから	20	6.3%
砂利が利用できるようになるから	3	0.9%
その他	17	5.4%
無回答	1	0.3%
合計	316	100.0%



その他回答	人数
貯水能力向上	4
川の氾濫を防ぐ	2
水害がなくなるように	1
やらないよりやった方が良い。	1
自然災害が起こらないような河川整備	1
行政がしてくれる事だけありがたい	1
渴水がなくなるから	2
安全面	1
大きい石を流してほしい	1
良くなるなら全て期待する	1
何とも言えない	1
なぜ砂を下流に流すのか、何の効果を期待しているのか逆に聞きたい。	1
合計	17

Q10. 上記で2.と答えた方は、その理由を下から選んでください。（複数回答可）

	回答数	割合
川に土砂が溜まり、洪水で溢れるから	51	35.9%
川口ダムが土砂で埋まってしまうから	26	18.3%
用水の取水口に土砂が溜まると水を取れないから	5	3.5%
土砂が溜まると魚が棲みにくくなりそうだから	14	9.9%
濁りが心配だから	17	12.0%
その他	16	11.3%
無回答	13	9.2%
合計	142	100.0%



その他回答	人数
工事車両のせいで道が傷んで水が溜まる	1
台風時多量に砂が流れる	1
計画的にしてくれるなら問題ないと思う。	1
土砂が堆積してしまうから	1
自然の力に任せせる方が良い	1
そのような事で良い方向へ行くとは思えない	1
長安口より上流なので関係がない	1
しかたない	1
やっても一緒だから	1
意味がない	1
無理だと思う	1
特になし	1
わからない	3
無回答	1
合計	16

(3) 海岸域調査結果概要

アンケート調査による海岸域の調査結果概要を表-4 に示す。

表-4 那賀川アンケートとりまとめ【海岸域】

設問	設問内容	主なアンケート結果
1	属性 P19～P22	<ul style="list-style-type: none"> 回答者は、60代以上の高齢者が約 63%と多く、30代以上をあわせると 90%以上になった。 男女比は 7:3 の割合で男性が多かった。 約 60%が阿南市の方、約 6%が那賀町の方で、全体の約 60%の方が 25 年以上の居住年数であった。 海岸の利用目的は散策が約 32%と多く、次いで釣りが約 23%、水遊びが約 17%であった。 利用頻度は、散策の方は毎日が最も多く、釣りの方は週 1 回が多かった。
2	現在の海岸の印象について Q1 P23	<ul style="list-style-type: none"> 堤防による安心な海岸をあげる方が約 33%と多く、次いで、砂浜が少ない・狭いが約 26%で、特に何も感じないが約 21%となつた。
3	砂浜の侵食について Q2～Q3 P24	<ul style="list-style-type: none"> 過去に広い砂浜があったが、現在は侵食されたことを知っている方は約 43%、知らない方は約 55%であった。 海岸が侵食され始めた時期を知る人は 65 人中 8 人だった。
4	砂浜の回復の必要性について Q4～Q5 P25	<ul style="list-style-type: none"> 砂浜が回復したらしい答えた方は全体の約 71%と多かった。 砂浜の回復の理由としては、景観が良くなるからが約 21%と最も多く、次いで砂浜でのレジャーを楽しみたい約 19%、砂浜があると安心だから約 18%であった。 「今のままでいい」と答えた方も約 12%存在した。
5	砂浜の回復の程度について Q6 P26	<ul style="list-style-type: none"> 砂浜の回復の程度についてのイメージは特にならない方が約 34%と多く、次いで昭和 20 年代（海岸侵食対策事業の実施前）と挙げた方が約 29%、昭和 20 年代の半分程度が約 18%であった。
6	海岸堤防の防護機能について Q7 P27	<ul style="list-style-type: none"> 現在の海岸堤防の防護機能については約 41%の方が不安を感じたことがある、約 58%の方が不安を感じたことがないと答えた。
7	望ましい海岸について Q8 P27	<ul style="list-style-type: none"> 理想の海岸は、「台風や地震時の防護機能を備え、レジャーが楽しめる海岸（堤防と砂浜が揃った海岸）」を望む方が約 32%と多かった。次いで「砂浜のレジャー機能」のみを望む方は約 28%、「台風時の波浪や地震時の津波の防護機能」のみを望む方が約 23%であった。

(アンケート結果を踏まえた今後の分析方針について)

以上、海岸域の全体的な傾向を示したが、今後は地区別の整理を行い、地区別の変化傾向等を分析していく予定である。

【海岸域】アンケート集計結果データ集

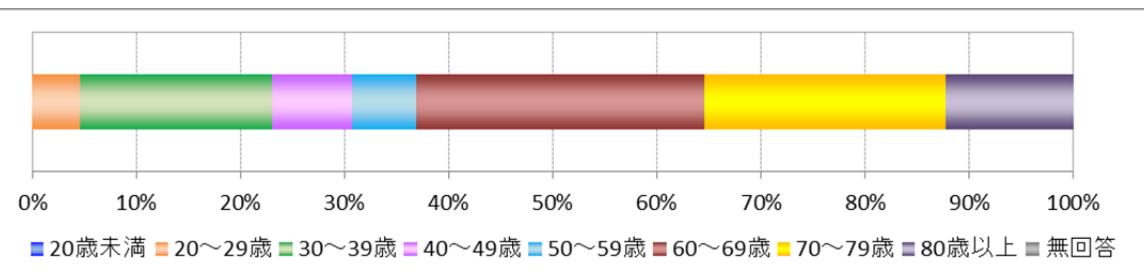
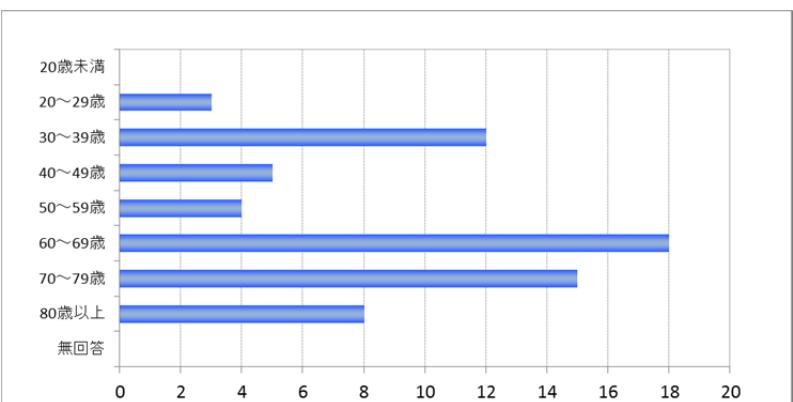
全回答数：65

このアンケートにお答えいただくあなた自身についてお教え下さい。

- ・あなたの年齢に当てはまる番号に○をつけて下さい。

[1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳
6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上]

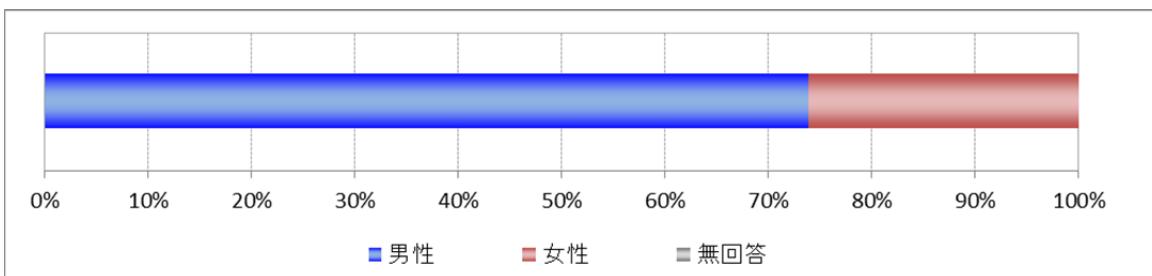
	回答数	割合
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	3	4.6%
30～39歳	12	18.5%
40～49歳	5	7.7%
50～59歳	4	6.2%
60～69歳	18	27.7%
70～79歳	15	23.1%
80歳以上	8	12.3%
無回答	0	0.0%
合計	65	100.0%



- ・あなたの性別に当てはまる番号に○をつけて下さい。

性別： [1. 男性 2. 女性]

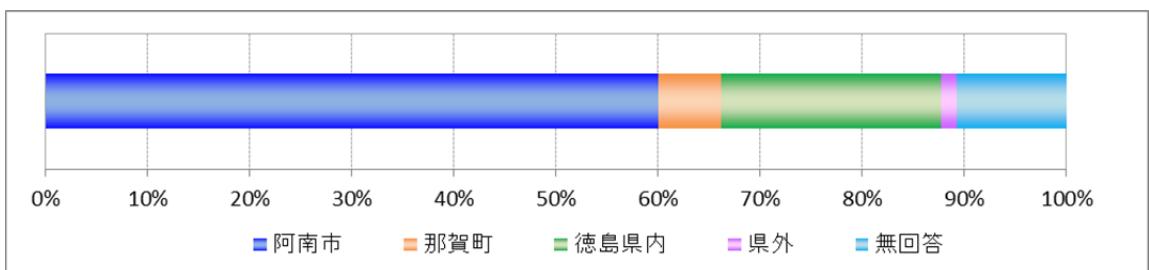
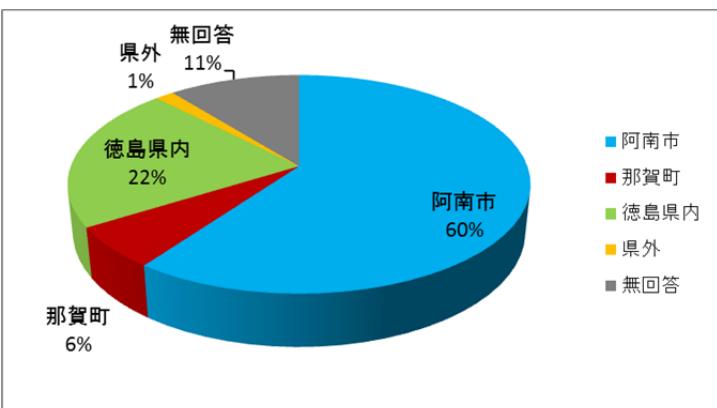
	回答数	割合
男性	48	73.8%
女性	17	26.2%
無回答	0	0.0%
合計	65	100.0%



- ・あなたのお住まいの地区に○をつけて下さい。

1. 阿南市 町
2. 那賀町 町
3. 徳島県内 (_____)
4. 県外 (_____)

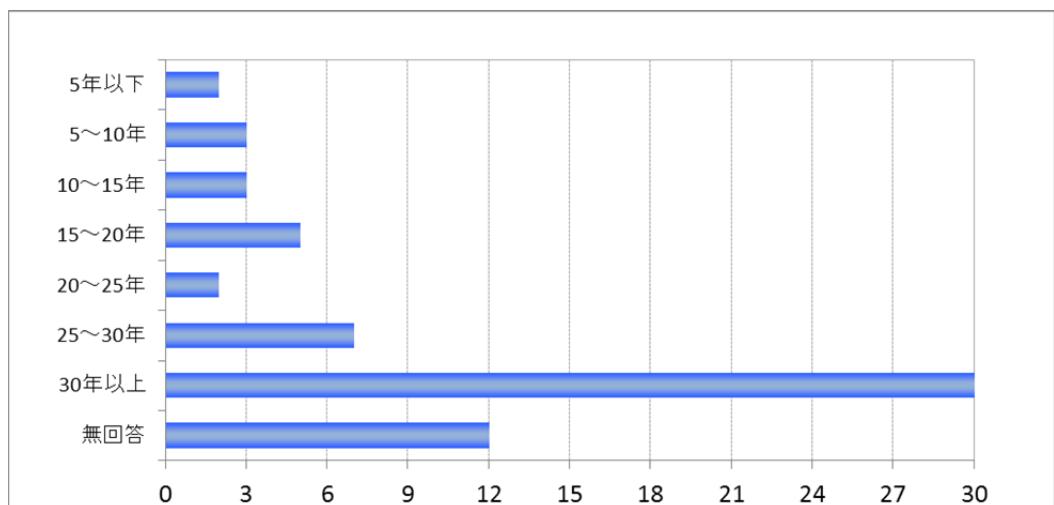
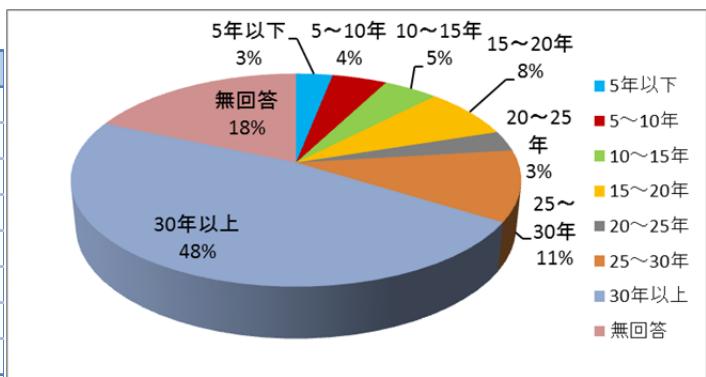
	回答数	割合
阿南市	39	60.0%
那賀町	4	6.2%
徳島県内	14	21.5%
県外	1	1.5%
無回答	7	10.8%
合計	65	100.0%



- ・現在お住まいの場所にお住みになっている年数をご記入下さい。

居住年数 : ()年

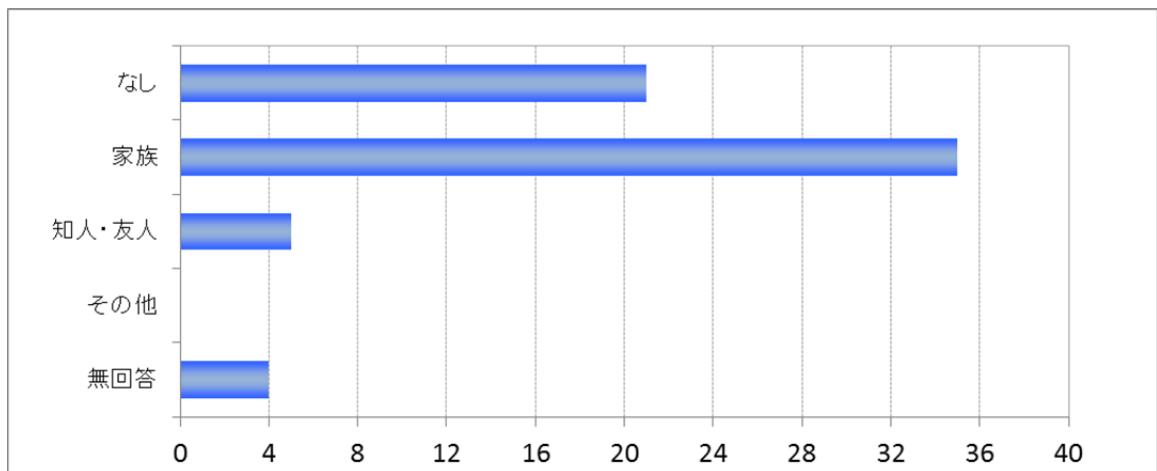
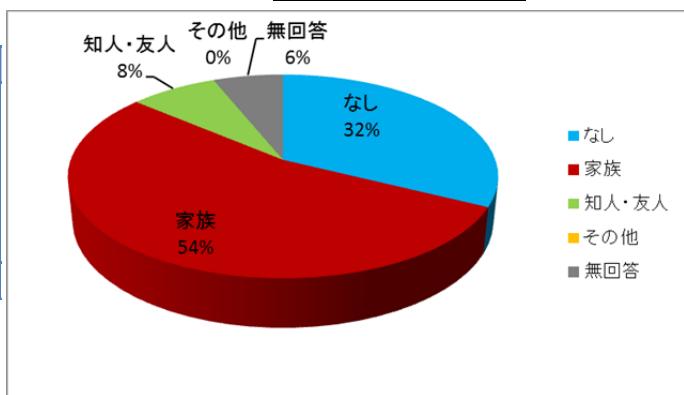
	回答数	割合
5年以下	2	3.1%
5~10年	3	4.6%
10~15年	3	4.6%
15~20年	5	7.7%
20~25年	2	3.1%
25~30年	7	10.8%
30年以上	31	47.7%
無回答	12	18.5%
合計	65	100.0%



- ・ 同伴者をご記入下さい。

2. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他 (_____)

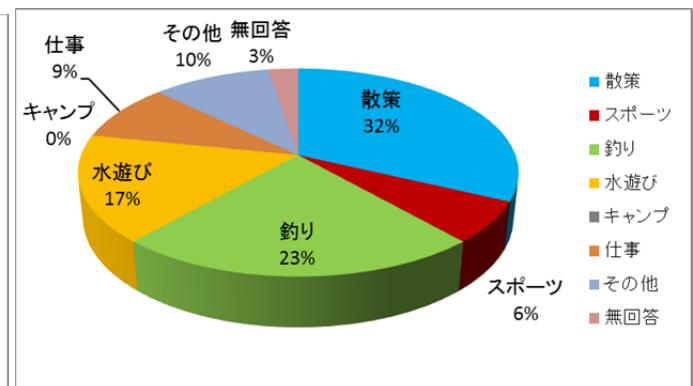
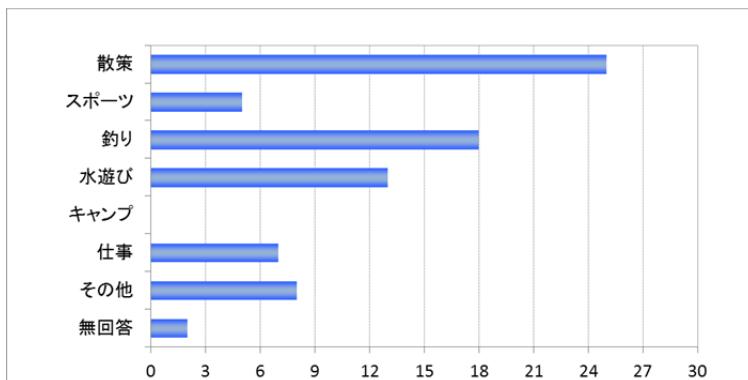
	回答数	割合
なし	21	32.3%
家族	35	53.8%
知人・友人	5	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	4	6.2%
合計	65	100.0%

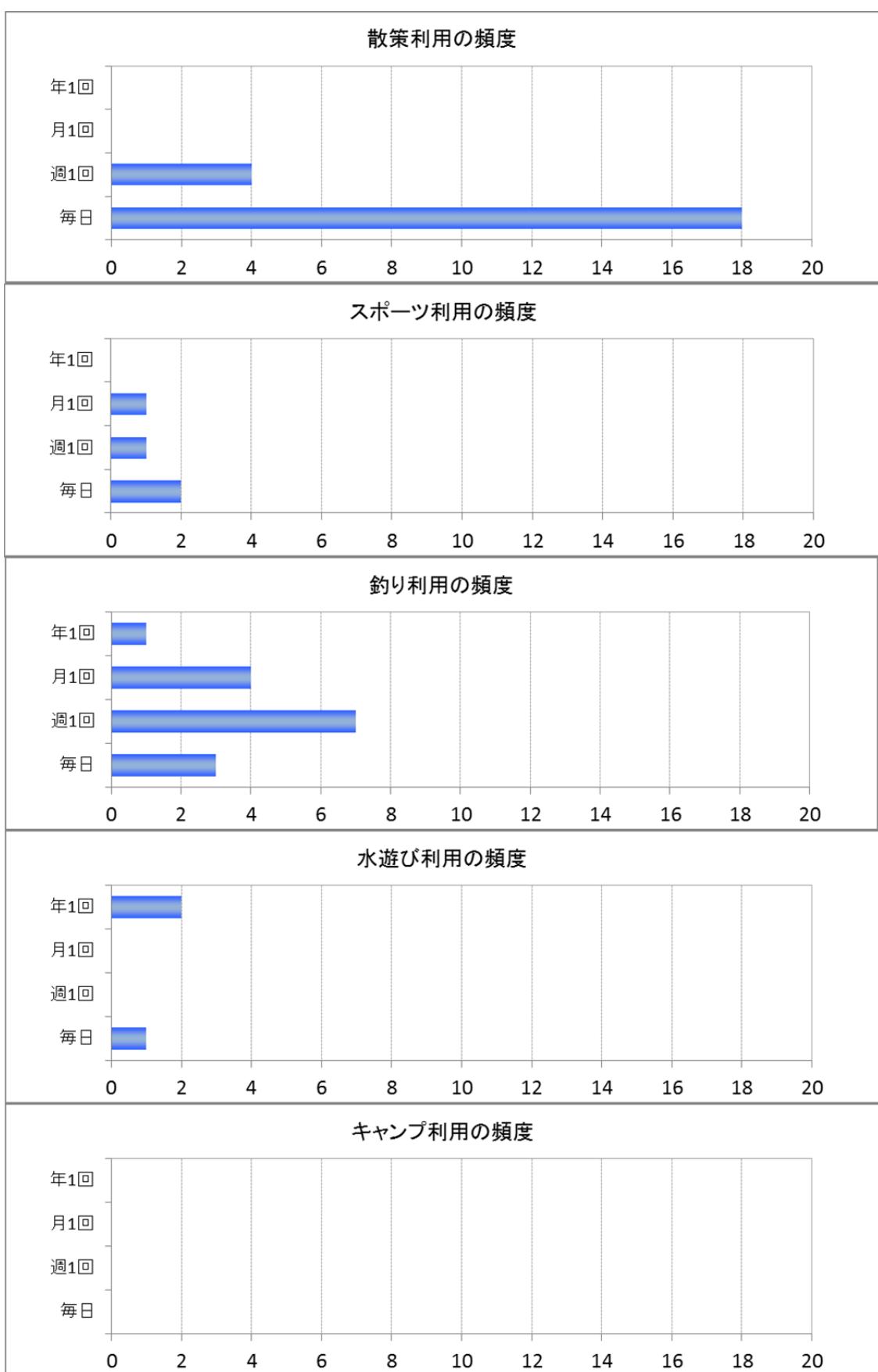


- ・ 利用目的：複数回答あり

1. 散策 2. スポーツ 3. 釣り 4. 水遊び 5. キャンプ 6. 仕事
7. その他 (_____)

	回答数	割合	毎日	週1回	月1回	年1回	無回答
散策	25	32.1%	18	4	0	0	3
スポーツ	5	6.4%	2	1	1	0	1
釣り	18	23.1%	3	7	4	1	3
水遊び	13	16.7%	1	0	0	2	10
キャンプ	0	0.0%	0	0	0	0	0
仕事	7	9.0%	6	0	0	0	1
その他	8	10.3%	4	2	0	1	1
無回答	2	2.6%					
合計	78	100.0%	34	14	5	4	19



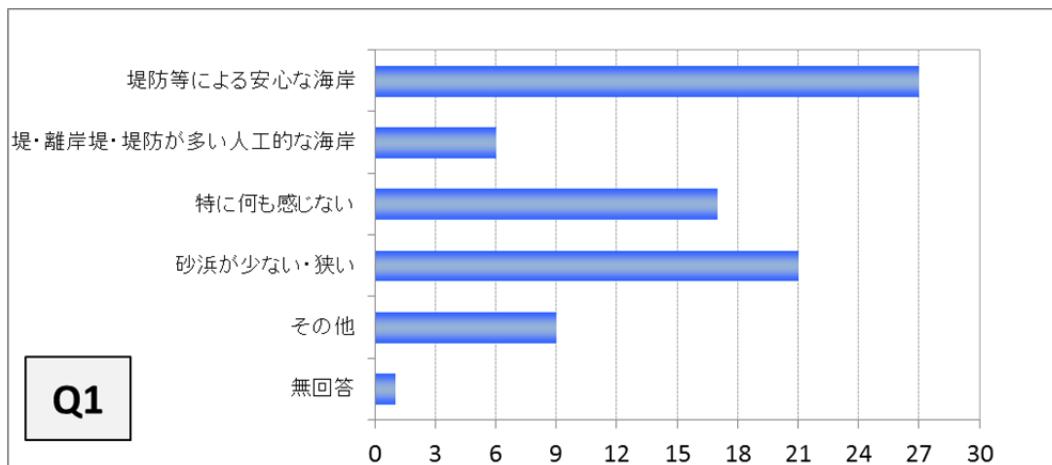
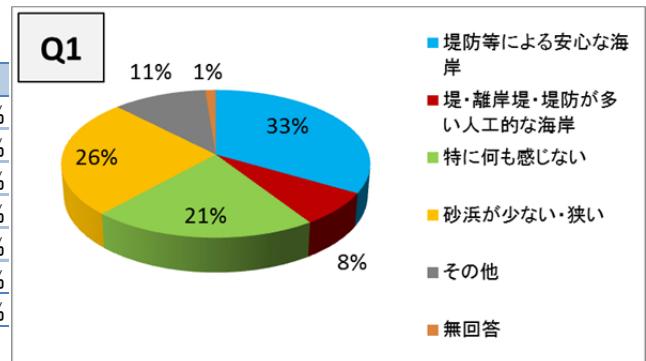


Q1 現在の海岸の印象。（複数回答可）

・現在の海岸の印象を教えてください。（複数回答可）

1. 堤防等による安心な海岸
2. 突堤・離岸堤・堤防が多い人工的な海岸
3. 特に何も感じない
4. 砂浜が少ない・狭い
5. その他（_____）

	回答数	割合
堤防等による安心な海岸	27	33.3%
堤・離岸堤・堤防が多い人工的な海岸	6	7.4%
特に何も感じない	17	21.0%
砂浜が少ない・狭い	21	25.9%
その他	9	11.1%
無回答	1	1.2%
合計	81	100.0%

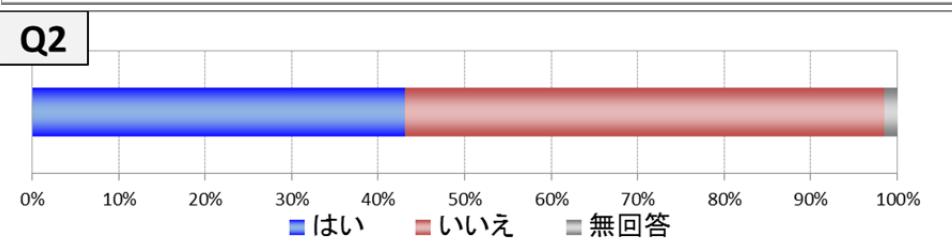
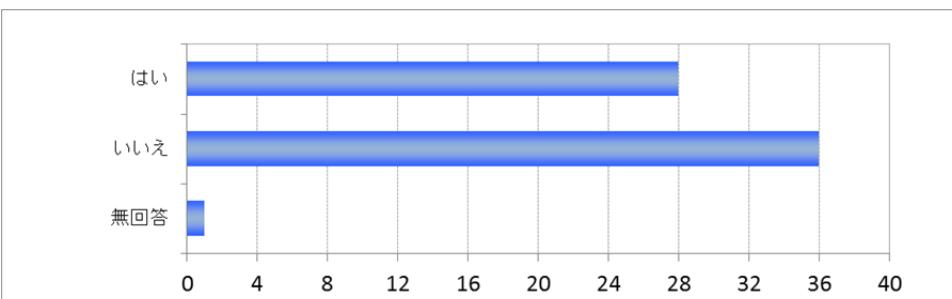


人数	その他回答
2	津波による危険性
2	汚い
1	底が浅い
1	ゴミが多い
1	北の脇海水浴場よりきれい
1	砂が汚い

Q2 昔、今津・坂野海岸にも広い砂浜があったが、現在は侵食されてしまったことを知っていますか。

1. はい 2. いいえ

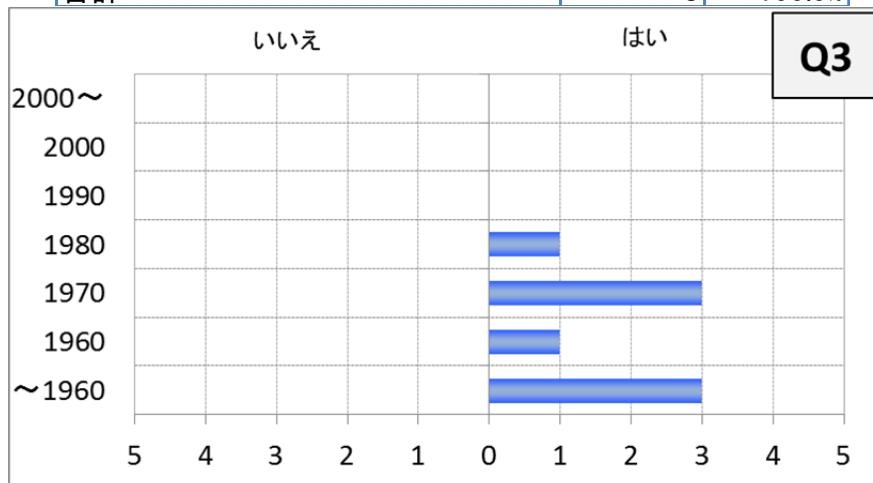
	回答数	割合
はい	28	43.1%
いいえ	36	55.4%
無回答	1	1.5%
合計	65	100.0%



Q3. 頗著に砂浜が侵食されはじめた時期を知っていますか。

1. はい (_____年頃) 2. 知らない

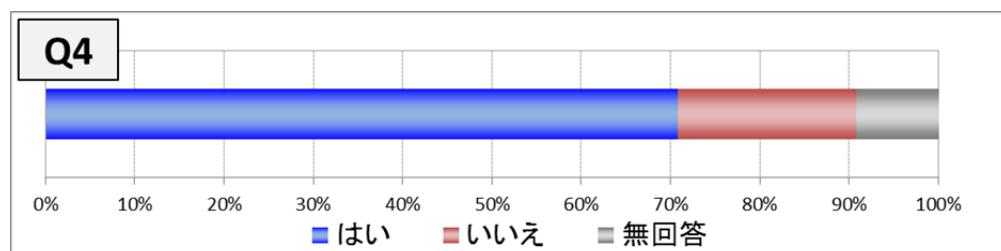
	回答数	割合
はい	8	100.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	8	100.0%



Q4. 今津・坂野海岸に浜が回復したらいいと思いますか。

1. はい 2. いいえ

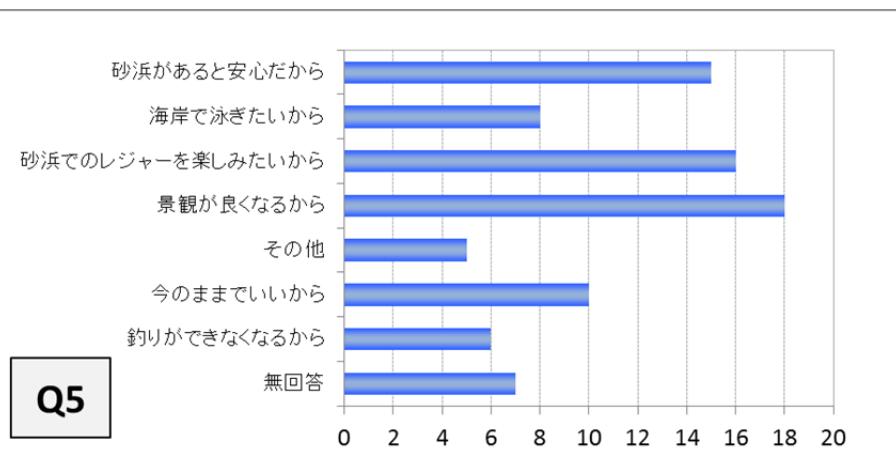
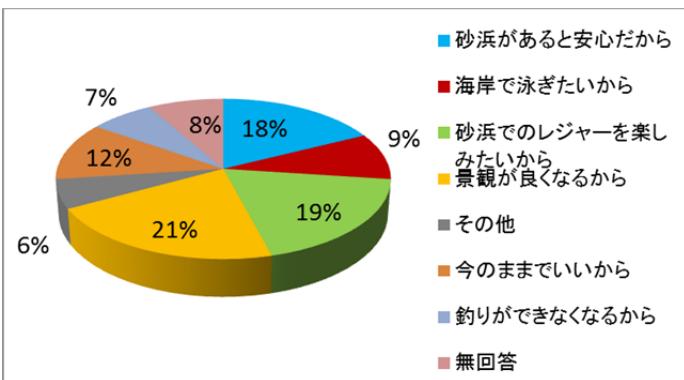
	回答数	割合
はい	46	70.8%
いいえ	13	20.0%
無回答	6	9.2%
合計	65	100.0%



Q5. それはなぜですか。

1. 砂浜があると安心だから 2. 海岸で泳ぎたいから 3. 砂浜でのレジャーを楽しみたいから
 4. 景観が良くなるから 5. その他 (_____)
 6. 今までいいから 7. 釣りができなくなるから

	回答数	割合
砂浜があると安心だから	15	17.6%
海岸で泳ぎたいから	8	9.4%
砂浜でのレジャーを楽しみたいから	16	18.8%
景観が良くなるから	18	21.2%
その他	5	5.9%
今までいいから	10	11.8%
釣りができなくなるから	6	7.1%
無回答	7	8.2%
合計	85	100.0%

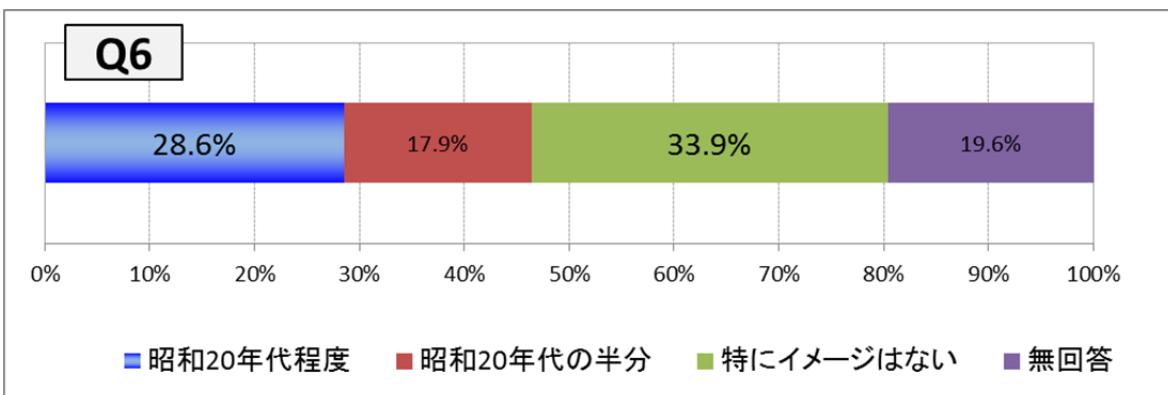
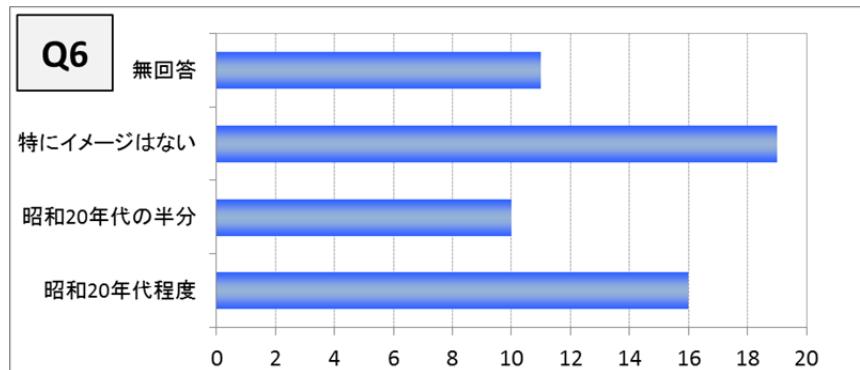


人数	その他回答
1	水質がよくなればよい
1	ワカメの出来が違う
1	色々なことができる
1	色々な面で
1	税金の無駄

Q6. どこまで回復するといいですか

(1. 昭和20年代程度 2.昭和20年代の半分 3. 特にイメージはない)

	回答数	割合
昭和20年代程度	16	28.6%
昭和20年代の半分	10	17.9%
特にイメージはない	19	33.9%
無回答	11	19.6%
合計	56	100.0%

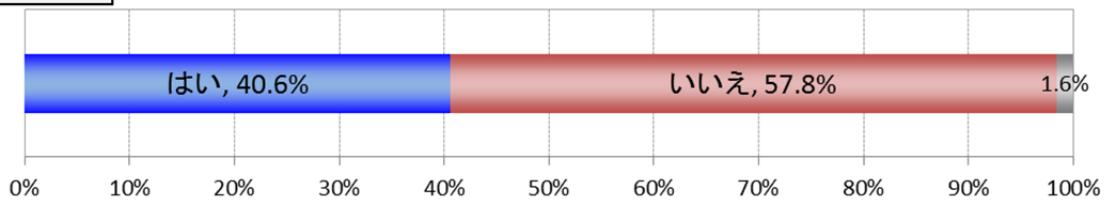


Q7. 海岸堤防等の防護機能に不安を感じたことがありますか。

1. はい 2. いいえ

	回答数	割合
はい	26	40.6%
いいえ	37	57.8%
無回答	1	1.6%
合計	64	100.0%

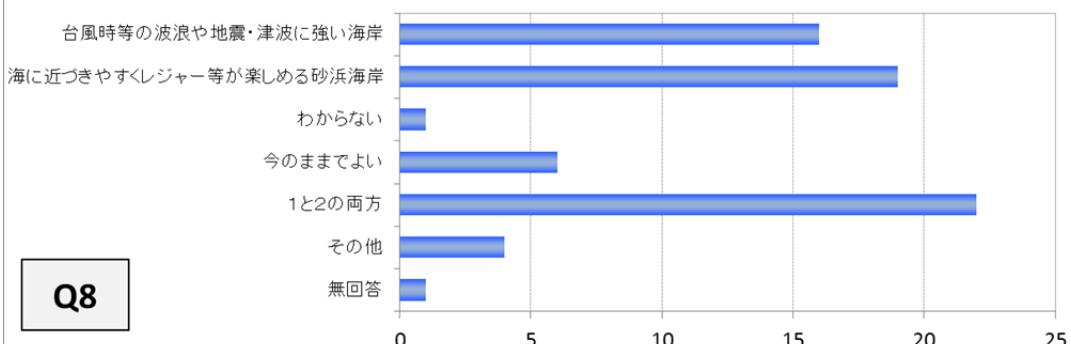
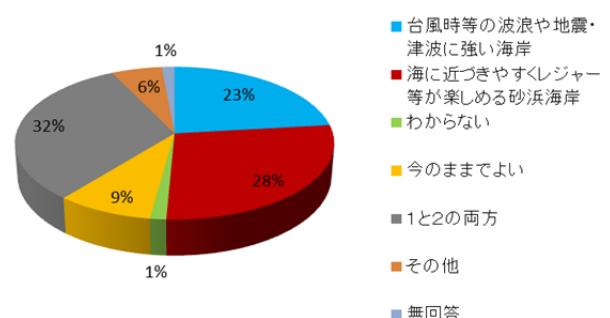
Q7



Q8. あなたが思う理想の海岸について、最も良いと思うものを1つだけお選び下さい。

1. 台風時等の波浪や地震・津波に強い海岸 2. 海岸に近づきやすくレジャー等が楽しめる砂浜海岸
3. わからない 4. 今までいい 5. 1と2の両方 6. その他 (_____)

	回答数	割合
台風時等の波浪や地震・津波に強い海岸	16	23.2%
海に近づきやすくレジャー等が楽しめる砂浜海岸	19	27.5%
わからない	1	1.4%
今までよい	6	8.7%
1と2の両方	22	31.9%
その他	4	5.8%
無回答	1	1.4%
合計	69	100.0%



人数	その他回答
2	レジャーはダメ。ゴミを捨てていく。
1	大地震や大津波がきたらどうしようもない
1	他所から來たので良くわからない
1	見た目もよく、きれいな砂浜

—参考資料 河道域 アンケート調査票—

～那賀川総合土砂管理計画にかかる流域住民のニーズ把握アンケート調査票（河道域：河口～十八女大橋）～



昔の那賀川の紹介(別紙1)：写真ご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q1. 現在の那賀川の普段の印象を教えてください。(複数回答可)

1. 水量が多い川
2. 流れが速い川
3. 水面が広い川
4. 水深が深い川
5. 水量が少ない川
6. 流れが遅い川
7. 水面が狭い川
8. 水深が浅い川
9. その他 ()

Q2. 那賀川の河原の大きさは変わりましたか

1. 広くなった
2. 狹くなった
3. 変わらない
4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q3. 那賀川の河原の高さは変わりましたか

1. 高くなった
2. 低くなった
3. 変わらない
4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q4. 那賀川の河原の石の大きさは変わりましたか

1. 大きくなった
2. 小さくなった
3. 変わらない
4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q5. 那賀川の河原の石は大きさはどんな感じでしたか

1. 拳より大きな石がごろごろしている
2. 拳より小さな石が多い
3. 砂利が多い
4. 砂が多い
5. 岩がごつごつしている
6. わからない (いつ頃： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q6. 那賀川では水辺を利用されますか

1. はい
2. いいえ

　　いいえの場合

1. 川に降りにくい
2. 水際が遠い
3. 車両が河原に入れない
4. 流れが速く危ない
5. 水深が深く怖い
6. 川が濁っている
7. その他 ()

那賀川の将来の望ましい姿について、別紙2をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q7. あなたの思う将来の那賀川の姿について、最も望ましいと思うものを1つお選び下さい。(堤防の整備など、洪水に対する安全は確保することを前提にします)

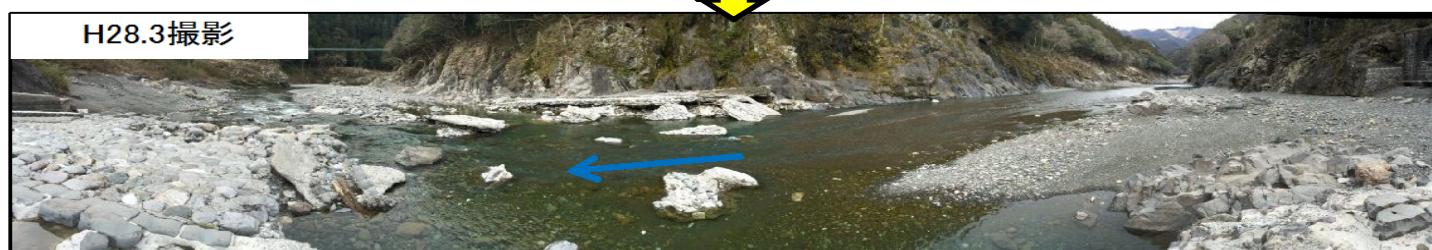
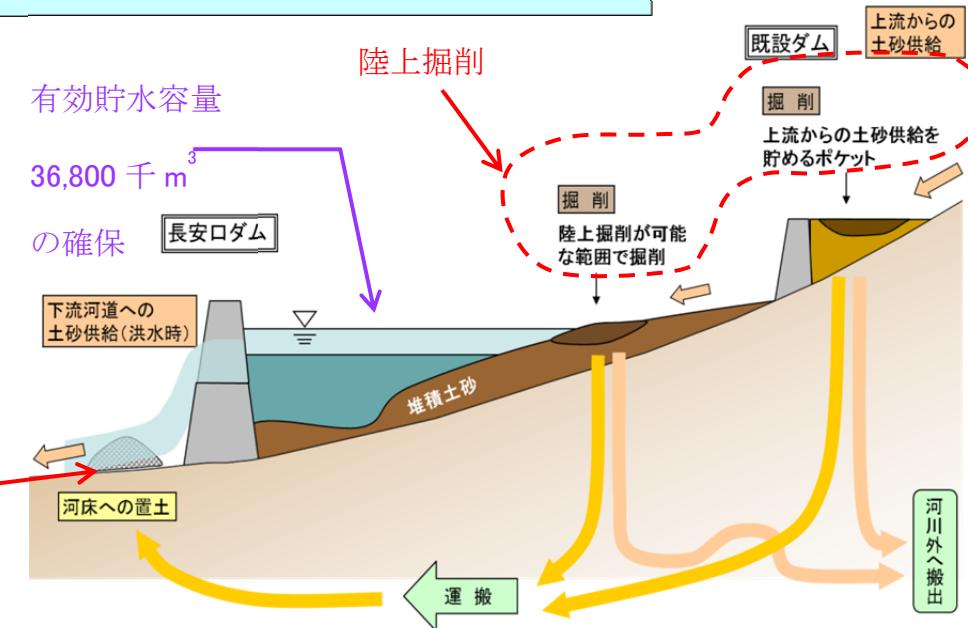
1. 水辺に近づきやすく、川遊びができる川
2. たくさんアユが遡上し、釣りができる川
3. 早瀬や淵が存在する多様な流れのある川
4. 今までよい
5. わからない

1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
2. 性別	1. 男性 2. 女性
3. お住まい	1. 阿南市_____町 2. 那賀町_____ 3. 徳島県内_____ 4. 県外_____
4. 居住年数	_____年 (現在お住まいの場所にお住みになっている年数)
5. 同伴者	1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他
6. 利用目的 ・頻度	1. 散策() 2. スポーツ() 3. 釣り() 4. 水遊び() 5. キャンプ() 6. 仕事() 7. その他() ※()は頻度：①毎日、②週1回、③月1回、④年1回
7. よく利用 される範囲	図示する。

自由意見・その他に書ききれなかったこと (設問番号を書いて記述)

ダムに貯まった砂礫を川に戻す試み（総合土砂管理の取り組み）についての紹介 平成8年～

- 那賀川では国土交通省、徳島県、阿南市、那賀町等が協力して、ダムに溜まった土砂をダムの下流に流す取り組みの検討を始めています。
- 土砂を下流に流すことで、ダムができる前の那賀川の土砂の流れに近づけ、昔のような河原ができるか、検討しています。
- 現在、試験的に長安口ダムの下流に土砂を置き、洪水時に流れた土砂について、土砂がどこまで流れるか、土砂が流れることで河川の環境がどのように変わるか調査しています。
- 次の写真は、那賀町上那賀支所付近の写真です。土砂が流れた変化の一例を示しています。



総合土砂管理の取り組みについての紹介をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q8. 長安口ダムで土砂を下流に流す取り組みについて知っていました。（1. はい 2. いいえ）

Q9. このような取り組みに期待しますか。（1. はい 2. いいえ）

Q10. 上記で1. と答えた方は、期待する効果はなんですか。

- (1. 本来の土砂の流れが復活するから 2. 砂利が増えて、遊びやすくなるから 3. 深みが減り、浅瀬が増えて川で遊びやすくなるから 4. 魚が棲みやすくなるから
5. 川の水がきれいになりそうだから 6. 那賀川らしい河原がひろがりそうだから 7. 砂利が利用できるようになるから 8. その他 (_____))

Q11. 上記で2. と答えた方は、その理由を教えてください。（

- (1. 川に土砂が溜まり、洪水で溢れるから 2. 川口ダムが土砂で埋まってしまうから 3. 用水の取水口に土砂が溜まると水が取れないから
4. 土砂が溜まると魚が棲みにくくなりそうだから 5. 濁りが心配だから 6. その他 (_____))

自由意見・その他に書ききれなかったこと（設問番号を書いて記述）

～那賀川総合土砂管理計画にかかる流域住民のニーズ把握アンケート調査票（河道域：十八女大橋～川口ダム）～



1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
2. 性別	1. 男性 2. 女性
3. お住まい	1. 阿南市_____町 2. 那賀町_____ 3. 徳島県内_____ 4. 県外_____
4. 居住年数	_____年（現在お住まいの場所にお住みになっている年数）
5. 同伴者	1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他
6. 利用目的 ・頻度	1. 散策（ ） 2. スポーツ（ ） 3. 釣り（ ） 4. 水遊び（ ） 5. キャンプ（ ） 6. 仕事（ ） 7. その他（ ）（ ） ※（ ）は頻度：①毎日、②週1回、③月1回、④年1回
7. よく利用 される範囲	図示する。

昔の那賀川の紹介(別紙1)：写真ご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q1. 現在の那賀川の普段の印象を教えてください。（複数回答可）

1. 水量が多い川 2. 流れが速い川 3. 水面が広い川 4. 水深が深い川 5. 水量が少ない川 6. 流れが遅い川 7. 水面が狭い川 8. 水深が浅い川
9. その他（ ）

Q2. 那賀川の河原の大きさは変わりましたか

1. 広くなった 2. 狹くなった 3. 変わらない 4. わからない（いつ頃と比べて： 年頃）※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q3. 那賀川の河原の高さは変わりましたか

1. 高くなかった 2. 低くなかった 3. 変わらない 4. わからない（いつ頃と比べて： 年頃）※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q4. 那賀川の河原の石の大きさは変わりましたか

1. 大きくなかった 2. 小さくなかった 3. 変わらない 4. わからない（いつ頃と比べて： 年頃）※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q5. 那賀川の河原の石は大きさはどんな感じでしたか

1. 拳より大きな石がごろごろしている 2. 拳より小さな石が多い 3. 砂利が多い 4. 砂が多い 5. 岩がごつごつしている 4. わからない

（いつ頃： 年頃）※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q6. 那賀川では水辺を利用されますか

1. はい 2. いいえ

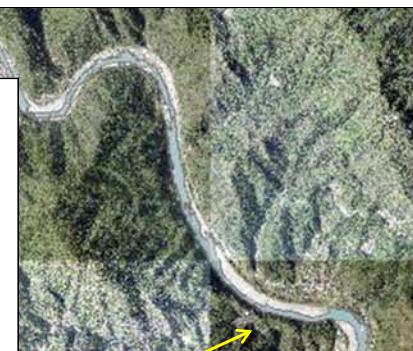
いいえの場合

1. 川に降りにくい 2. 水際が遠い 3. 車両が河原に入れないので危ない 4. 流れが速く危ない 5. 水深が深く怖い 6. 川が濁っている 7. その他（ ）

那賀川の将来の望ましい姿について、別紙2をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q7. あなたの思う将来の那賀川の姿について、最も望ましいと思うものを1つお選び下さい。（堤防の整備など、洪水に対する安全は確保することを前提にします）

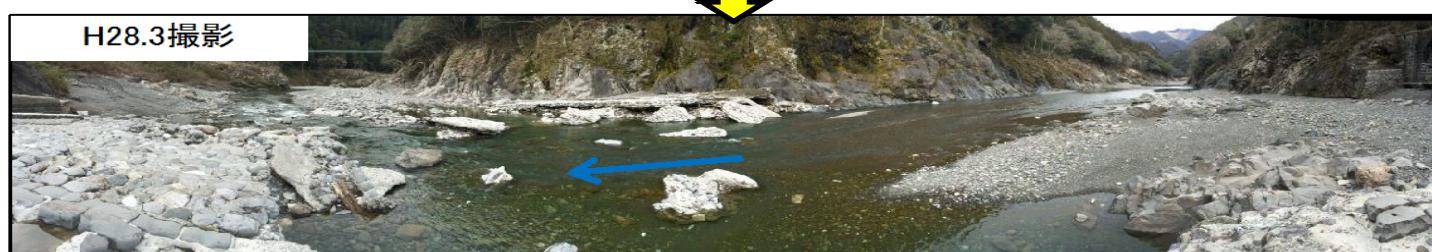
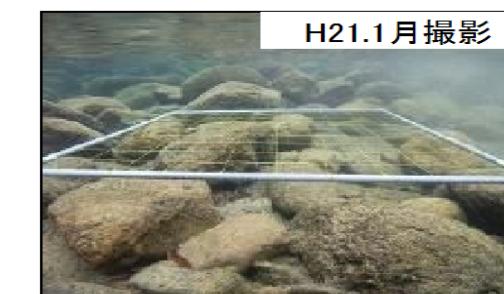
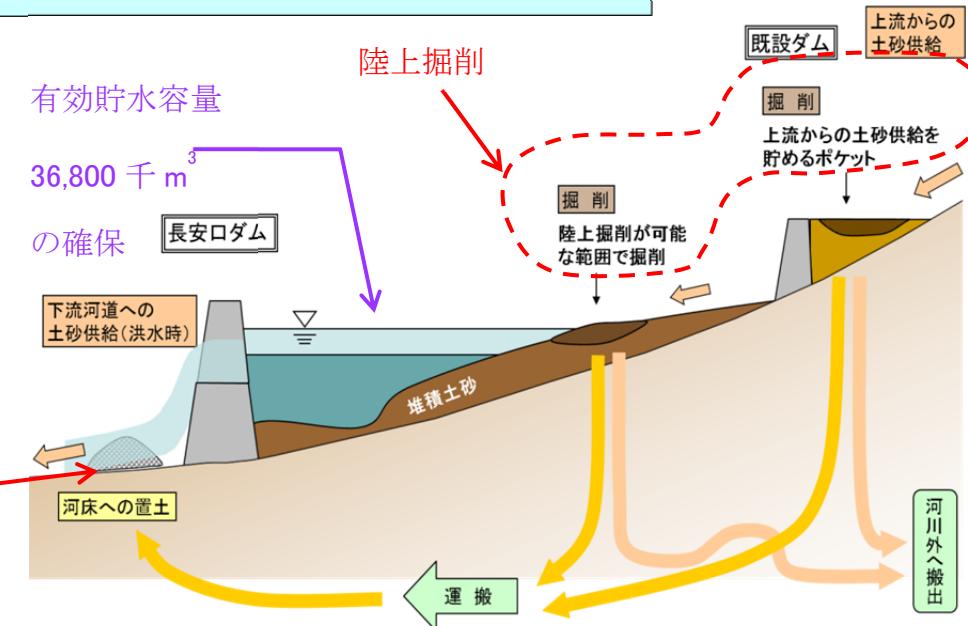
1. 水辺に近づきやすく、川遊びができる川 2. たくさんアユが遡上し、釣りができる川 3. 早瀬や淵が存在する多様な流れのある川 4. 今までよい 5. わからない



自由意見・その他に書ききれなかったこと
(設問番号を書いて記述)

ダムに貯まった砂礫を川に戻す試み（総合土砂管理の取り組み）についての紹介 平成8年～

- 那賀川では国土交通省、徳島県、阿南市、那賀町等が協力して、ダムに溜まった土砂をダムの下流に流す取り組みの検討を始めています。
- 土砂を下流に流すことで、ダムができる前の那賀川の土砂の流れに近づけ、昔のような河原ができるか、検討しています。
- 現在、試験的に長安口ダムの下流に土砂を置き、洪水時に流れた土砂について、土砂がどこまで流れるか、土砂が流れることで河川の環境がどのように変わるか調査しています。
- 次の写真は、那賀町上那賀支所付近の写真です。土砂が流れた変化の一例を示しています。



総合土砂管理の取り組みについての紹介をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q8. 長安口ダムで土砂を下流に流す取り組みについて知っていました。（1. はい 2. いいえ）

Q9. このような取り組みに期待しますか。（1. はい 2. いいえ）

Q10. 上記で1. と答えた方は、期待する効果はなんですか。

- (1. 本来の土砂の流れが復活するから 2. 砂利が増えて、遊びやすくなるから 3. 深みが減り、浅瀬が増えて川で遊びやすくなるから 4. 魚が棲みやすくなるから
 5. 川の水がきれいになりそうだから 6. 那賀川らしい河原がひろがりそうだから 7. 砂利が利用できるようになるから 8. その他 (_____))

Q11. 上記で2. と答えた方は、その理由を教えてください。（

- (1. 川に土砂が溜まり、洪水で溢れるから 2. 川口ダムが土砂で埋まってしまうから 3. 用水の取水口に土砂が溜まると水が取れないから
 4. 土砂が溜まると魚が棲みにくくなりそうだから 5. 濁りが心配だから 6. その他 (_____))

自由意見・その他に書ききれなかったこと（設問番号を書いて記述）

～那賀川総合土砂管理計画にかかる流域住民のニーズ把握アンケート調査票（河道域：川口ダム～長安口ダム）～



自由意見・その他に書ききれなかったこと（設問番号を書いて記述）

昔の那賀川の紹介(別紙1)：写真ご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q1. 現在の那賀川の普段の印象を教えてください。(複数回答可)

1. 水量が多い川 2. 流れが速い川 3. 水面が広い川 4. 水深が深い川 5. 水量が少ない川 6. 流れが遅い川 7. 水面が狭い川 8. 水深が浅い川
9. その他 ()

Q2. 那賀川の河原の大きさは変わりましたか

1. 広くなった 2. 狹くなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q3. 那賀川の河原の高さは変わりましたか

1. 高くなった 2. 低くなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q4. 那賀川の河原の石の大きさは変わりましたか

1. 大きくなった 2. 小さくなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q5. 那賀川の河原の石は大きさはどんな感じでしたか

1. 拳より大きな石がごろごろしている 2. 拳より小さな石が多い 3. 砂利が多い 4. 砂が多い 5. 岩がごつごつしている 6. わからない

(いつ頃： 年頃) ※場所を○で囲み設問番号-回答番号

Q6. 那賀川では水辺を利用されますか

1. はい 2. いいえ

いいえの場合

1. 川に降りにくい 2. 水際が遠い 3. 車両が河原に入れない 4. 流れが速く危ない 5. 水深が深く怖い 6. 川が濁っている 7. その他 ()

那賀川の将来の望ましい姿について、別紙2をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

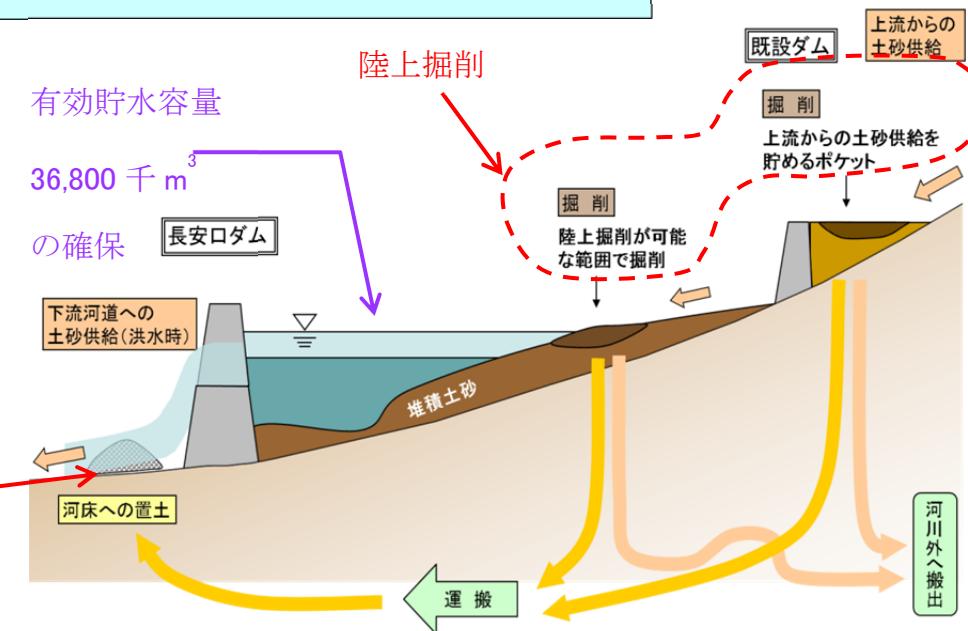
Q7. あなたの思う将来の那賀川の姿について、最も望ましいと思うものを1つお選び下さい。(堤防の整備など、洪水に対する安全は確保することを前提にします)

1. 水辺に近づきやすく、川遊びができる川 2. たくさんアユが遡上し、釣りができる川 3. 早瀬や淵が存在する多様な流れのある川 4. 今までよい 5. わからない

1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳 7. 70歳代 8. 80歳以上
2. 性別	1. 男性 2. 女性
3. お住まい	1. 阿南市_____町 2. 那賀町_____ 3. 徳島県内_____ 4. 県外_____
4. 居住年数	_____年 (現在お住まいの場所にお住みになっている年数)
5. 同伴者	1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他
6. 利用目的 ・頻度	1. 散策() 2. スポーツ() 3. 釣り() 4. 水遊び() 5. キャンプ() 6. 仕事() 7. その他() ※()は頻度：①毎日、②週1回、③月1回、④年1回
7. よく利用される範囲	図示する。

ダムに貯まった砂礫を川に戻す試み（総合土砂管理の取り組み）についての紹介 平成8年～

- 那賀川では国土交通省、徳島県、阿南市、那賀町等が協力して、ダムに溜まった土砂をダムの下流に流す取り組みの検討を始めています。
- 土砂を下流に流すことで、ダムができる前の那賀川の土砂の流れに近づけ、昔のような河原ができるか、検討しています。
- 現在、試験的に長安口ダムの下流に土砂を置き、洪水時に流れた土砂について、土砂がどこまで流れるか、土砂が流れることで河川の環境がどのように変わるか調査しています。
- 次の写真は、那賀町上那賀支所付近の写真です。土砂が流れた変化の一例を示しています。



総合土砂管理の取り組みについての紹介をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q8. 長安口ダムで土砂を下流に流す取り組みについて知っていました。（1. はい 2. いいえ）

Q9. このような取り組みに期待しますか。（1. はい 2. いいえ）

Q10. 上記で1. と答えた方は、期待する効果はなんですか。

- (1. 本来の土砂の流れが復活するから 2. 砂利が増えて、遊びやすくなるから 3. 深みが減り、浅瀬が増えて川で遊びやすくなるから 4. 魚が棲みやすくなるから
 5. 川の水がきれいになりそうだから 6. 那賀川らしい河原がひろがりそうだから 7. 砂利が利用できるようになるから 8. その他 (_____))

Q11. 上記で2. と答えた方は、その理由を教えてください。（

- (1. 川に土砂が溜まり、洪水で溢れるから 2. 川口ダムが土砂で埋まってしまうから 3. 用水の取水口に土砂が溜まると水が取れないから
 4. 土砂が溜まると魚が棲みにくくなりそうだから 5. 濁りが心配だから 6. その他 (_____))

自由意見・その他に書ききれなかったこと（設問番号を書いて記述）

～那賀川総合土砂管理計画にかかる流域住民のニーズ把握アンケート調査票（河道域：長安口ダム上流部）～

昔の那賀川の紹介(別紙1)：写真ご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q1. 現在の那賀川の普段の印象を教えてください。(複数回答可)

1. 水量が多い川 2. 流れが速い川 3. 水面が広い川 4. 水深が深い川 5. 水量が少ない川 6. 流れが遅い川 7. 水面が狭い川 8. 水深が浅い川
9. その他 ()

Q2. 那賀川の河原の大きさは変わりましたか

1. 広くなった 2. 狹くなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を〇で囲み設問番号-回答番号

Q3. 那賀川の河原の高さは変わりましたか

1. 高くなった 2. 低くなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を〇で囲み設問番号-回答番号

Q4. 那賀川の河原の石の大きさは変わりましたか

1. 大きくなった 2. 小さくなった 3. 変わらない 4. わからない (いつ頃と比べて： 年頃) ※場所を〇で囲み設問番号-回答番号

Q5. 那賀川の河原の石は大きさはどんな感じでしたか

1. 拳より大きな石がごろごろしている 2. 拳より小さな石が多い 3. 砂利が多い 4. 砂が多い 5. 岩がごつごつしている 6. わからない
(いつ頃： 年頃) ※場所を〇で囲み設問番号-回答番号

Q6. 那賀川では水辺を利用されますか

1. はい 2. いいえ

いいえの場合

1. 川に降りにくい 2. 水際が遠い 3. 車両が河原に入れない 4. 流れが速く危ない 5. 水深が深く怖い 6. 川が濁っている 7. その他 ()

那賀川の将来の望ましい姿について、別紙2をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q7. あなたの思う将来の那賀川の姿について、最も望ましいと思うものを1つお選び下さい。(堤防の整備など、洪水に対する安全は確保することを前提にします)

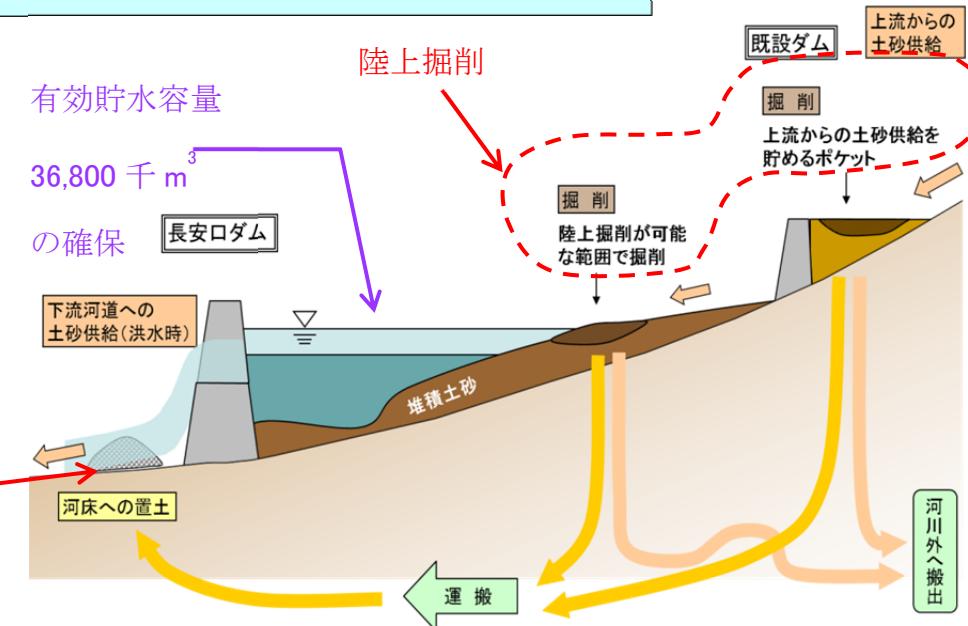
1. 水辺に近づきやすく、川遊びができる川 2. たくさんアユが遡上し、釣りができる川 3. 早瀬や淵が存在する多様な流れのある川 4. 今までよい 5. わからない

1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
2. 性別	1. 男性 2. 女性
3. お住まい	1. 阿南市_____町 2. 那賀町_____ 3. 徳島県内_____ 4. 県外_____
4. 居住年数	_____年(現在お住まいの場所にお住みになっている年数)
5. 同伴者	1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他
6. 利用目的 ・頻度	1. 散策() 2. スポーツ() 3. 釣り() 4. 水遊び() 5. キャンプ() 6. 仕事() 7. その他()() ※()は頻度：①毎日、②週1回、③月1回、④年1回
7. よく利用 される範囲	図示する。

自由意見・その他に書ききれなかったこと(設問番号を書いて記述)

ダムに貯まった砂礫を川に戻す試み（総合土砂管理の取り組み）についての紹介 平成8年～

- 那賀川では国土交通省、徳島県、阿南市、那賀町等が協力して、ダムに溜まった土砂をダムの下流に流す取り組みの検討を始めています。
- 土砂を下流に流すことで、ダムができる前の那賀川の土砂の流れに近づけ、昔のような河原ができるか、検討しています。
- 現在、試験的に長安口ダムの下流に土砂を置き、洪水時に流れた土砂について、土砂がどこまで流れるか、土砂が流れることで河川の環境がどのように変わるか調査しています。
- 次の写真は、那賀町上那賀支所付近の写真です。土砂が流れた変化の一例を示しています。



総合土砂管理の取り組みについての紹介をご覧になって、以下の問い合わせにお答え下さい。

Q8. 長安口ダムで土砂を下流に流す取り組みについて知っていました。（1. はい 2. いいえ）

Q9. このような取り組みに期待しますか。（1. はい 2. いいえ）

Q10. 上記で1. と答えた方は、期待する効果はなんですか。

- (1. 本来の土砂の流れが復活するから 2. 砂利が増えて、遊びやすくなるから 3. 深みが減り、浅瀬が増えて川で遊びやすくなるから 4. 魚が棲みやすくなるから
5. 川の水がきれいになりそうだから 6. 那賀川らしい河原がひろがりそうだから 7. 砂利が利用できるようになるから 8. その他 (_____))

Q11. 上記で2. と答えた方は、その理由を教えてください。（

- (1. 川に土砂が溜まり、洪水で溢れるから 2. 川口ダムが土砂で埋まってしまうから 3. 用水の取水口に土砂が溜まると水が取れないから
4. 土砂が溜まると魚が棲みにくくなりそうだから 5. 濁りが心配だから 6. その他 (_____))

自由意見・その他に書ききれなかったこと（設問番号を書いて記述）

昔の那賀川の写真の紹介

【出典】80年のあしあと 鷺敷町

- かつて、那賀川にダムが無く、発電利用もなかった頃、那賀川の河原は、砂、小礫～大礫の多様な石が存在し、広い河原がありました。
- 川の中では‘流れ狩り’という泳ぎながら目視でアユをとる漁法が行われていました。
- 夏には、川で泳いだり、川で洗濯を行うなど、水は澄んでいたようです。次の写真は、いずれも昭和初期～昭和30年ころまでの旧鷺敷町、丹生谷橋上流付近の那賀川の様子を示した写真です。写真をご覧になって、次の設問に答えてください。

昭和28年：川での洗濯と川遊び



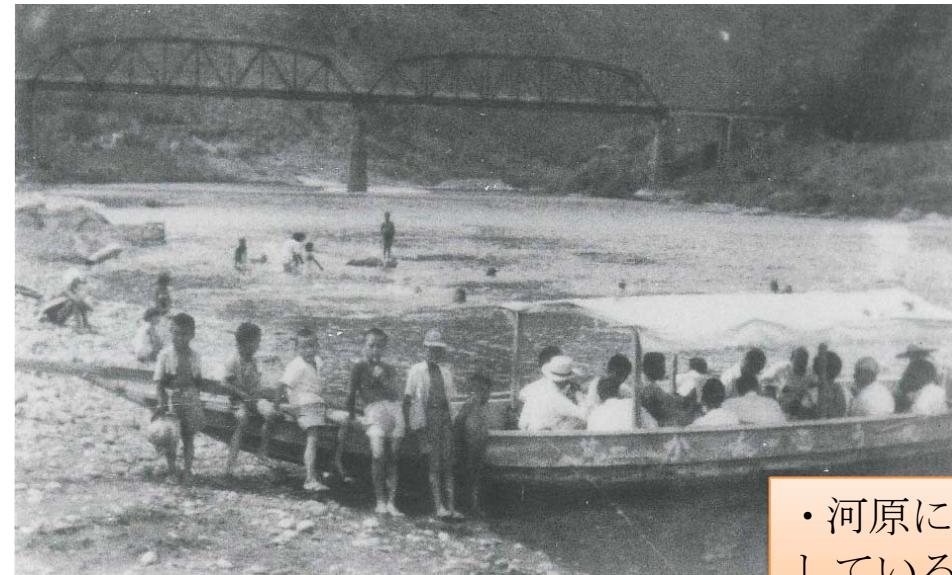
- ・水は透き通り、河床材料の拳大からそれより小さい
- ・流速の遅い浅場が存在

昭和10年頃：砂利採取状況



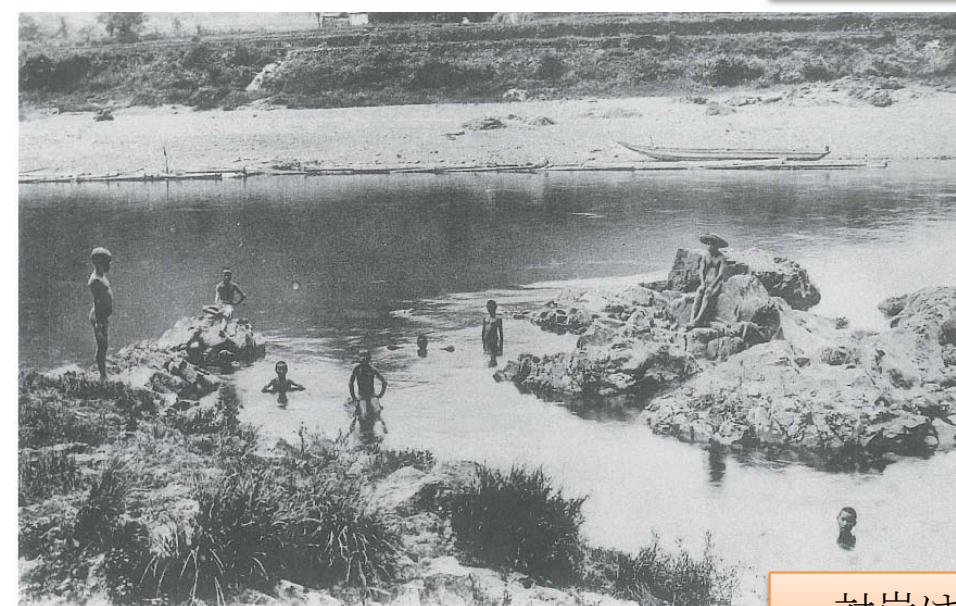
- ・小礫～中礫を採取している
- ・河原には細粒分も多く存在した

昭和28年：鷺敷ライン観光船と川遊び（後ろは丹生谷橋）



- ・河原には砂から大礫まで分布している
- ・背後では川遊びが見られる

大正時代：川遊びの様子



- ・対岸は土砂が堆積した礫河原

昭和元年頃：アユの‘流れ狩り’の様子



- ・透き通った那賀川で、泳ぎながらアユを獲る
- ・子供もアユをとっていた

那賀川における将来の望ましい姿に関する参考写真

1. 水辺に近づきやすく、浅場などで安心して遊びができる川



3. 沢山のアユが遡上し、アユなどの魚釣りができる



4. 瀬渕が存在する多様な流れが存在する川

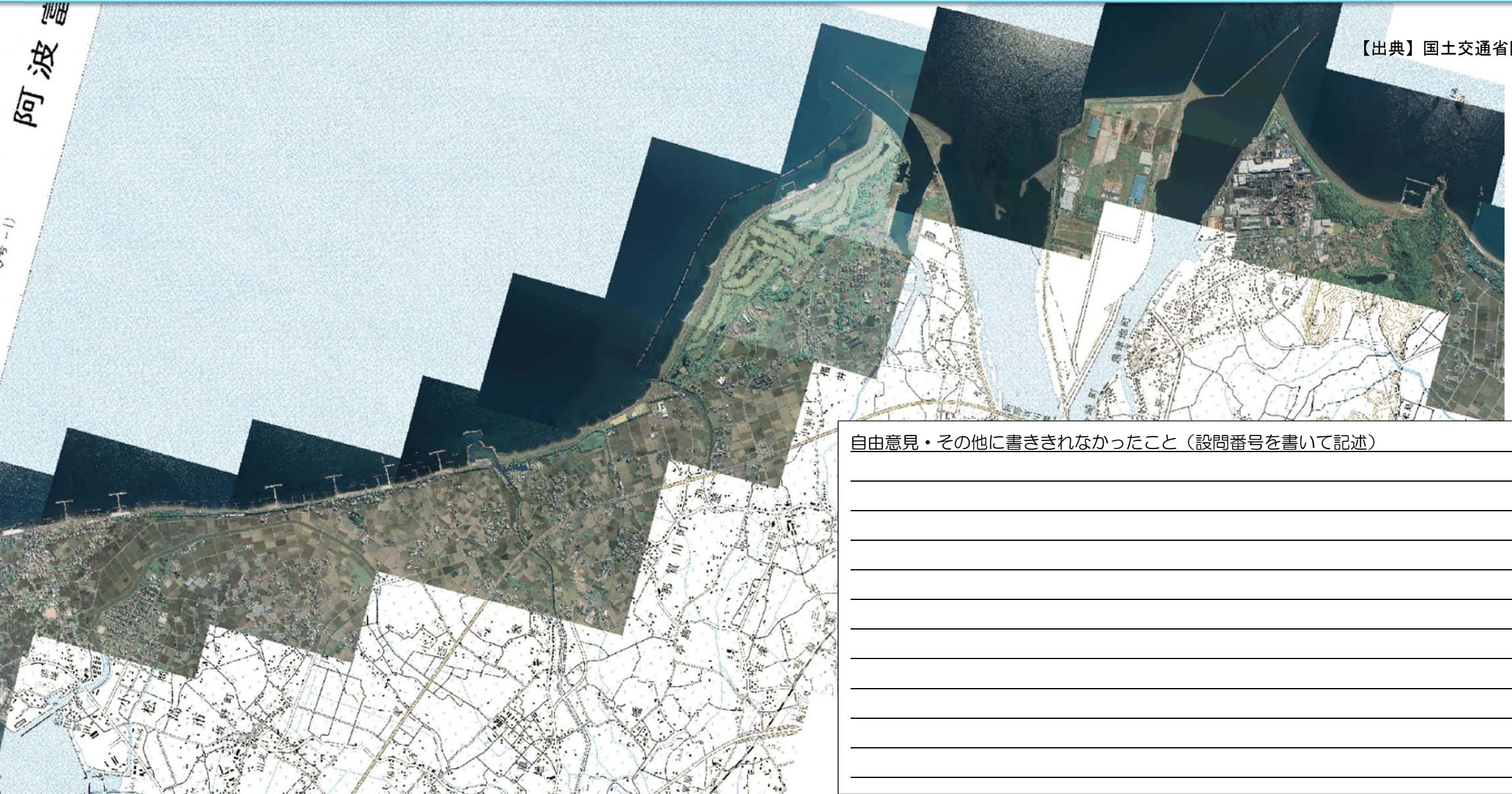


5. 現状のままでよい



—参考資料 海岸域 アンケート調査票—

～那賀川総合土砂管理計画にかかる流域住民のニーズ把握アンケート調査票（海岸域）～



■設問

Q1 こちらの海岸の印象を教えてください。(1.堤防等による安心な海岸、2.突堤・離岸堤・堤防が多い人工的な海岸 3.特に何も感じない
4 砂浜が少ない・狭い 5. その他 ())

Q2 昔、今津・坂野海岸にも広い砂浜があったが、現在は侵食されてしまったことを知っていますか。(1.はい 2.いいえ) ※海岸域別紙1

Q3 顕著に砂浜が侵食されはじめた時期をしっていますか(1. 年頃 2.知らない) ※Q2で、はいの場合

Q4 今津・坂野海岸に砂浜が回復したらいいと思いますか(1.はい 2.いいえ)

Q5 それはなぜですか (1.砂浜があると安心だから 2. 海岸で泳ぎたいから 3. 砂浜でのレジャーを楽しみたいから 4. 景観が良くなるか
5. その他 () 6.今のままでいいから 7.釣りができなくなるから ※特定の場所があれば○で囲み設問番号-回答番号

Q6 どこまで回復するといいですか (1.昭和20年代程度、2.昭和20年代の半分 3.特にイメージはない) ※Q4で、はいの場合

Q7 海岸堤防等の防護機能に不安を感じたことがありますか (1. はい 2. いいえ) ※特定の場所があれば○で囲んで設問番号

Q8 あなたが思う理想の海岸について、最も良いと思うものを1つお選びください。

(1. 台風時等の波浪や地震・津波に強い海岸 2. 海に近づきやすくレジャー等が楽しめる砂浜海岸 3. わからない 4. 今のままでよい
5. 1と2の両方 6. その他 ()) ※海岸域別紙2

1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
2. 性別	1. 男性 2. 女性
3. お住まい	1. 阿南市_____町 2. 那賀町_____ 3. 徳島県内_____ 4. 県外_____
4. 居住年数	_____年 (現在お住まいの場所にお住みになっている年数)
5. 同伴者	1. なし 2. 家族 3. 知人・友人 4. その他
6. 利用目的 ・頻度	1. 散策() 2. スポーツ() 3. 釣り() 4. 水遊び() 5. キャンプ() 6. 仕事() 7. その他() () ※()は頻度:①毎日、②週1回、③月1回、④年1回
7. よく利用 される範囲	図示する。

侵食される那賀川河口域における海岸の紹介（今津・坂野海岸）

- かつて、今津・坂野海岸は、砂浜が広がっていましたが、昭和30年代以降、当海岸全域で侵食が目立ちはじめ、明治初期と比較して最大で150m幅の著しい侵食を受けた箇所もあり、激浪が打ち寄せる台風時には背後地の生活に脅威を与えていた可能性があります。



昭和 22 年撮影

【出典】国土交通省国土地理院
(米軍撮影資料)



昭和 22 年撮影

【出典】徳島県県土整備部河川整備課所管写真集



撮影年不明



以前の波打ち際

平成 18 年撮影



平成 25 年撮影



平成 23 年撮影

那賀川河口域における海岸の望ましい姿

波浪や津波に強い海岸



海に近づきやすくレジャーが楽しめる砂浜海岸



現状のままでよい



海岸浸食対策の取り組みの紹介

- ・徳島県では、昭和30年代頃から海岸線の後退が進み、堤防や護岸の防護機能の低下を招いたことから、離岸堤や突堤、緩傾斜堤防等を整備することにより、海岸線の後退を防いできました。
- ・今津坂野海岸では、昭和36年より海岸侵食対策事業に着手し、波浪に対する防護機能を高めるとともに著しい侵食を抑える突堤、離岸堤、緩傾斜護岸等の整備を進めています。
- ・次の写真は、今津・坂野海岸の現状の写真です。



侵食される那賀川河口域における海岸の紹介（今津・坂野海岸）



昭和 27 年 台風第 13 号



平成 14 年 台風第 9 号



平成 25 年 台風 18 号



平成 27 年 台風第 11 号